施策評価調書（内部評価結果）

整理番号 2

■ 総合計画（後期基本計画）

政策名	Ⅰ	交流経済都市
施策名	②1-	農林業の振興（農業の振興）

所管部局	所管部局長の氏名
農林水産環境部	石嶋 政博
農業委員会事務局	引野 都夫

PLAN

1 関連する個別計画

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市鳥獣被害防止計画（第2期）	鳥獣被害に対する対策を総合的かつ効果的に実施するために策定。「個体数調整」、「被害防除」、「生息地管理」の3視点から総合的に対策を行い、鳥獣被害の減少を図る。	平成23年3月	平成23年度～ 平成25年度	
京丹後市緊急捕獲等計画	短期間で集中的に有害鳥獣捕獲を行い、鳥獣被害の減少を図る。	平成25年4月	平成25年度～ 平成27年度	
京丹後市農業農村振興ビジョン	「第1次京丹後市総合計画（平成18年3月策定）」の基本構想及び基本計画で示された産業分野の基本方針や農業分野の諸政策、さらに京都府の「京都府丹後活動プラン」など上位・関連計画を踏まえながら、より具体的な本市の農業・農村の振興方針を農業政策と農村政策の両面から示したもの。	平成20年3月	平成20年度～ 平成28年度	計画策定後5年を経過した段階で中間見直しを行い、概ね10年を経過した段階で抜本的な見直し
京丹後市農村環境計画	市内で行われる農業農村整備事業における環境への配慮の基本的な考え方や整備方針を定めたもの	平成19年3月	計画期間の定めなし	
京丹後市生物多様性を育む農業推進計画	豊かな自然・農村環境を後世にわたり維持・継続できるよう、「生物多様性を育む農業」を推進し、持続可能な農業の発展を目指すために策定したもの	平成23年6月	平成23年度～ 平成28年度	
京丹後市農業経営基盤強化の促進に関する基本構想	効率的かつ安定的な農業経営の育成を図るため、育成すべき農業経営の目標を明らかにし、その目標に向けて農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対して、農用地の利用の集積及びこれらの農業者の経営管理の合理化、農業経営基盤の強化を促進するための措置を総合的に講じることを定めたもの。	平成17年4月 平成24年12月見直し	平成17年度～ 平成26年度	
京丹後農業振興地域整備計画	農業の振興を図るべき区域を明らかにし、その土地の農業上の有効利用と農業の近代化のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に定めたもの。	平成18年8月 平成24年3月改定	平成24年度～ 平成33年度	

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって（何のために）	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで（又はどのような手段で）』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針	
1	農家の高齢化、新規就農者や担い手の不足、未耕作農地の増加、農産物単価の減少等	新規就農者への資金制度の活用、認定農業者、集落営農組織等への農地集積、丹後産コシヒカリや京丹後野菜のﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化の推進、国営開発農地での茶を始めとする収益性の高い新規作物の推進などを図る。	農業所得の向上及び農家経営の安定を図る。	1	担い手対策の推進
				2	水田農業の振興と米の有利販売対策の強化
				3	中山間地の保全対策の推進
				4	国営開発農地における営農の振興
				5	畜産の振興
				6	特産品とブランド化の推進
				9	足腰の強い農業・農村の基盤づくり
2	農村・漁村地域の高齢化が進み地域活力が減退している。	防災施設等の生活環境基盤の整備と共に、農家民宿や農作業体験等の取組を進め、魅力ある地域資源をアピールし、農村・漁村への誘客を図る。	快適な農村生活環境を整備すると共に、都市農村の交流を促進し、地域の活性化を図る。	7	快適な農村生活環境の創造
				8	都市農村交流の推進
3	鳥獣被害は依然として高い水準で発生し、農家にとっては死活問題となっている。	短期間で集中的に有害鳥獣捕獲を行う。また、捕獲されたイノシシ、シカは、食肉として有効活用に努める。	鳥獣被害の軽減を図る。	10	有害鳥獣対策の強化
				11	地域資源の利活用
4	農業者の高齢化等に伴い施設の管理がままならない状況になってきている。	施設の基盤整備と長寿命化の改修を行う。	維持管理の軽減による農業の持続的発展と地域の振興を図る。	9	足腰の強い農業・農村の基盤づくり
5	自然災害の頻発化などに伴い、被災後の農地・農業用施設の早期復旧や災害から住民の生命と財産及び生活を守る必要に迫られている。	農業用施設及び農村防災施設の整備により、地域住民の安心・安全を確保する。	持続的な営農の継続と耕作放棄地の発生を抑制する。	9	足腰の強い農業・農村の基盤づくり

3 目標値など

	めざす目標	指標名	総合計画作成時（H17）	年度	後期基本計画作成時（H20）	年度	直近年度実績値（現状）	年度	目標（H26）	年度
総合計画	担い手を育て、荒廃農地半減をめざします	認定農業者数	148経営体	H16	154経営体	H20	162経営体	H24	157経営体	H26
		荒廃農地	384ha	H16	141ha	H20	98.5ha	H24	135ha	H26
	売れる米づくりをめざします	年間の米生産量	14,270t	H16	12,957t	H20	12,803t	H24	13,000t	H26
		特別栽培米生産量	新規	―	1,059t	H20	2,158t	H24	1,500t	H26
		府内における市内産の生産割合（京丹後市／京都府）	13%	H16	17%	H20	16%	H24	18%	H26
	多収益農産物を育てます	年間1億円以上の農産物	7種	H15	13種	H20	9種	H23	14種	H26
	有害鳥獣による農業被害額を削減します	有害鳥獣による農業被害額	新規	-	59,000千円	H20	52,474千円	H24	43,000千円	H26

	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	年度	直近年度実績値（現状）	年度	目標	年度
個別計画	京丹後市鳥獣被害防止計画（第2期）	鳥獣による被害面積		58.07ha	H21	32.82ha	H24	29.00ha	H25
		鳥獣による被害金額		88,493千円	H21	52,474千円	H24	43,000千円	H25
	京丹後市緊急捕獲等計画	イノシシ		1,186頭	H24	1,186頭	H24	1,200頭	H27
		ニホンジカ等		1,276頭	H24	1,276頭	H24	1,300頭	H27
	京丹後市農業農村振興ビジョン	農業産出額（米）		331千万円	H18	―※	H24	270～360千万円	H29
		農業産出額（米以外の野菜等）		401千万円	H18	―※	H24	490千万円	H29
		経営耕地面積（うち担い手経営分）	担い手（担い手比率：27%→50%を目指す）	997ha	H19	1,176ha	H24	1,695ha	H29
		経営耕地面積（うち担い手経営分）	担い手以外（減少傾向の鈍化を目指す）	2,616ha	H17	2,437ha	H24	1,705ha	H29
		農用地利用集積計画面積		515ha	H19	661.3ha	H24	2,000ha	H29
		農業公社の設立		―	H19	農地利用円滑化団体設立	H22	H21までに設立	
		認定農業者への集積率	認定農業者の経営面積／経営耕地面積	25.2%	H19	32.5%	H24	36.6%	H29
		集落営農への集積率	集落営農の経営面積／経営耕地面積	1.9%	H19	0.4%	H24	13.2%	H29
		認定農業者の経営改善計画の粗収益の合計	各認定農業者の認定計画書の現状値の合計	2,302百万円	H19	2,691百万円	H24	3,000百万円	H29
		認定農業者数	農業経営基盤強化促進法による農業者数	148経営体	H19	162経営体	H24	160経営体	H29
		集落営農組織数	市で登録された集落営農経営体数	17経営体	H19	21経営体	H24	30経営体	H29
		農業産出額		730千円	H18	―※	H24	750～850千円	H29
		ほまれみチャレンジ取り組み団体数		―	H19	3団体	H24	10団体	H29
		年間売上1億円以上の農産物数		11種	H16～17	9種	H23	15種	H29
		（仮）新農産物流通機構設立準備会の設置		―	H19	設置済	H20	H20年度内設置	
		新農産物流通機構設立の具体的プランの策定		―	H19	農産物流通戦略会議で策定	H23	H21年度内策定	
		上記プランの実行		―	H19	未定	H24	H22年度から実行	
		「がっしゃー大好き故郷づくり」取り組み集落数		―	H19	8集落	H24	20集落	H29
		鳥獣による農作物被害額		50,000千円	H19	75,500千円	H23	30,000千円	H29
		ほ場整備率	昭和38年度以降に整備されたものを対象	58%	H19	59%	H24	70%	H29

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	年度	直近年度実績値（現状）	年度	目標	年度
個別計画	京丹後市生物多様性を育む農業推進計画	有機JAS認定者		4人	H22	4人	H24	10人	H28
		特別栽培(米)の取り組み者		221人	H22	236人	H24	325人	H28
		エコファーマー認定者		110人	H22	135人	H24	175人	H28
		認証GAP件数		1件	H22	1件	H24	3件	H28
	京丹後市環境基本計画	牛の放牧によるバッファゾーン箇所数	豊かな自然を守り共生していくまち	3か所	H20	2か所	H24	7か所	H30
		農山漁村体験型旅行協議会会員数	豊かな財産を環境に生かすまち	16会員	H20	13会員	H24	50会員	H30

※ 農林水産統計における農業産出額が平成19年度から市町村単位から都道府県単位の推計に変更となったためデータなし

４ 構成事務事業・評価結果一覧　　DO　　CHECK

施策方針	No.	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円) H24決算額	H25予算額 (一般財源)	事務事業の概要 根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策評価結果 施策目的	施策貢献度	今後の方向性
1 担い手対策の推進	1	利子助成事業 農業制度資金を借り入れた農業者と低温被害を受けた梨生産農家に対し利子補給助成(27人、31件)	農政課	935	822 (483)	府規定	府・一部	含む	サービス	事業者	補	4	民間補完福祉増進	1	B	現状維持
	2	農業技術者協議会活動促進事業 農業技術者協議会の運営経費の負担及び活動支援	農政課	3,426	3,151 (2,751)	府規定	府・一部	含む	サービス	団体	直・負	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	3	土地利用調整推進事業 府農業総合支援ｾﾝﾀｰから受託した担い手への農地集積等を実施(24.3ha)	農政課	168	39 (1)	府規定	他	－	サービス	事業者	直	4	民間補完福祉増進	1	B	現状維持
	4	農地継承円滑化事業 京都府農業総合支援ｾﾝﾀｰが農地ﾊﾞﾝｸから借り入れた農地管理経費に対し補助金を交付	農政課	534	634 (634)	国規定	単費	○	維持管理	団体	委	2	特定サービス	1	B	終了・廃止
	5	農地集積総合対策事業 集落単位で作成された京力農場ﾌﾟﾗﾝ(案)について検討・審査(作成実績10地区)	農政課	550	6,833 (10)	国規定	国府全額	－	内部管理	―	―	―	―	1	S	拡大
	6	農業団体等育成強化事業 集落・地域営農組織への農地集約や作業受託を促進するための機械導入に対して補助金を交付(4団体)	農政課	1,434	1,500 (1,500)	市規定	単費	○	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	7	認定農業者対策事業 認定農業者への農地集約や作業受託を促進するための機械導入に対して補助金を交付(8件)	農政課	3,197	3,200 (3,200)	市規定	単費	○	サービス	事業者	補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	8	実践農場整備支援事業 実践農場で就農研修を実施する研修者に対する後見人設置、研修用施設整備に対し補助金を交付(2件)	農政課	660	－ －	府規定	府・一部	含む	サービス	市民	補	4	民間補完福祉増進	1	A	現状維持
	9	就農研修資金償還金助成事業 就農研修資金の償還に対し助成(10人)	農政課	6,684	3,948 (1,974)	府規定	府・一部	－	サービス	事業者	補	4	民間補完福祉増進	1	A	現状維持
	10	新規就農総合支援事業 45歳未満の独立・自営型就農者に対し、就農後5年間、150万円／年を給付	農政課	8,646	24,099 (7)	国規定	国府全額	－	サービス	事業者	他	5	生活支援安全網	1	S	拡大
	11	京丹後農業経営実践型学舎推進事業 平成25年度から府と共同で丹後農業実践型学舎事業を実施するための土地改良に対する負担金	農政課	8,000	－ －	なし	単費	○	サービス	市民	負	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	12	京丹後農業経営実践型学舎推進事業【明許繰越】【方針4にも該当】 平成24年度事業の一部を繰り越しして実施する事業	農政課	－	132,213 －	平成24年度事業の一部を繰り越しして実施する事業										
	13	集落営農発展型産地づくり事業 農産物加工や高度生産化に係る機械・施設整備に対して補助金を交付(2件)	農政課	13,233	2,310 (210)	府規定	府・一部	－	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	A	現状維持
	14	経営体育成促進事業 地域農業の担い手となる法人を支援(大宮町森本地区)、適正堆肥に必要な土壌分析、法人運営関係備品の整備	農政課	401	710 (80)	府規定	府・一部	含む	サービス	団体	直	4	民間補完福祉増進	1	A	終了・廃止
2 水田農業の振興と米の有利販売対策の強化	1	農産物集出荷貯蔵施設等整備支援事業【明許繰越】 京都農業協同組合の行う水稲育苗施設の新設事業に対して補助金を交付	農政課	－	139,888 －	平成24年度事業の全部を繰り越しして実施する事業										
	2	水田農業振興推進事業 農業者戸別所得補償制度の推進を図るとともに売れる米づくりのための取組に補助金を交付	農政課	23,995	18,064 (6,260)	国規定	国・一部	含む	サービス	団体	直・補	4	民間補完福祉増進	1	A	現状維持
	3	京の米産地づくり事業 特別栽培米等の生産に必要な農業用機械導入団体・法人に対し補助金を交付(2団体)	農政課	4,356	－ －	府規定	府・一部	－	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	A	現状維持
3 中山間地の保全対策の推進	1	中山間地域等直接支払制度事業 中山間地域の耕作放棄防止のため、農業生産活動等を行う農業者等へ交付金を交付(45集落・1個人)	農政課	65,577	65,578 (16,264)	国規定	府・一部	－	サービス	団体	補	7	生活維持確保	1	S	拡大
4 国営開発農地における営農の振興	1	葉たばこ作付転換緊急対策事業 市内の葉たばこ栽培農家における廃作農地での他作物栽培に対し、補助金を交付(18人)	農政課	594	－ －	市規定	単費	○	サービス	事業者	補	4	民間補完福祉増進	1	S	終了・廃止
	2	京丹後農業経営実践型学舎推進事業【明許繰越】【再掲】方針1 平成24年度事業の一部を繰り越しして実施する事業	農政課	－	132,213 －	平成24年度事業の一部を繰り越しして実施する事業										
	3	農業基盤整備促進事業 府営国営団地整備事業(農業用施設等の改修)の負担金の納入	農林整備課	20,000	－ －	府規定	単費	○	施設整備	団体	負	4	民間補完福祉増進	1,4	S	縮小
	4	国営丹後土地改良事業負担金 国営土地改良事業に係る市及び受益者の負担金について、規定償還と繰上償還	農林整備課	26,360	15,188 (10,688)	国規定	単費	○	内部管理	市民	負	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
5 畜産の振興	1	畜産振興一般経費 畜産行政事務・畜産振興を円滑に実施するための経費	農政課	51	46 (46)	なし	単費	○	内部管理	―	―	4	民間補完福祉増進	1	A	現状維持
6 特産品とブランド化の推進	1	食品関連企業参入促進事業 食品関連企業に対し、農産物加工事業の礎となる拠点整備に対し補助金を交付(1件)	農政課	302	685 (685)	なし	単費	○	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	2	農産物流通対策事業 地産地消、地産都消、輸出等への新たな取組に対して補助金を交付(3件)	農政課	975	958 (958)	市規定	単費	○	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	3	茶の極み塾支援事業 茶の極み塾の運営経費に対して負担金で支援(茶業経営・栽培個別指導・緑茶審査技術研修等)	農政課	509	45 (45)	なし	単費	○	サービス	団体	負	4	民間補完福祉増進	1	A	終了・廃止
	4	優良茶園振興事業 茶の生産機械の導入に対して補助金を交付(機械導入2件、茶園の樹勢回復1件)	農政課	966	6,938 (1,387)	府規定	府・一部	含む	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	5	ﾊﾟｲﾌﾟﾊｳｽ整備事業 ﾊﾟｲﾌﾟﾊｳｽ(みず菜、九条ねぎ)の整備に対して補助金を交付(6件)	農政課	3,282	－ －	府規定	府・一部	含む	施設整備	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	6	集出荷貯蔵調整機械・施設整備事業 集出荷貯蔵調整機械・施設を導入・整備した団体等に対し補助金を交付(1団体)	農政課	714	－ －	府規定	府・一部	含む	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	A	現状維持
	7	京の黒大豆・小豆等産地づくり事業 黒大豆の生産拡大を推進するため農業団体の機械購入費に対して補助金を交付(1団体)	農政課	270	－ －	府規定	府・一部	－	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	A	現状維持
	8	雪害支援緊急対策事業【明許繰越】 平成24年1月～2月の大雪により被害を受けた農業用施設の復旧に要した費用に対し補助金を交付(2件)	農政課	10,140	－ －	府規定	府・一部	含む	サービス	団体	補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
7 快適な農村生活環境の創造	1	ｱｸﾞﾘｾﾝﾀｰ管理運営事業 アグリセンター大宮の維持管理及び運営(利用件数912件、利用人数26,626人)	農政課	6,076	7,455 (6,179)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	7	生活維持確保	2	B	現状維持
	2	農業関連施設管理運営事業【方針8にも該当】 指定管理施設(3施設)・弥栄農家用貸付住宅(4棟)・弥栄都市農村交流施設の維持管理	農政課	1,628	10,073 (9,974)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・指	3	個性魅力	1,2,4,5	B	縮小
	3	里の生活環境基盤整備事業 里力再生計画に基づく生活環境基盤施設の修繕・改修経費に対して補助金を交付(久美浜町神野地域、弥栄町野間地域)	農政課	22,263	100,440 (12,600)	府規定	府・一部	－	施設整備	団体	直・委・補	4	民間補完福祉増進	2	S	拡大
	4	里の地域活力再生事業 里の基盤整備事業の事業期間完了後の地域課題に対応するため、拠点施設の改修整備に対し補助金を交付	農政課	4,768	－ －	府規定	府・一部	－	施設整備	団体	補	4	民間補完福祉増進	2	S	拡大

施策方針	No.	事務事業 事業内容（実績）	担当課	予算額（単位：千円） H24決算額	H25予算額 （一般財源）	事務事業の概要 根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策評価結果 施策目的	施策貢献度	今後の方向性
8　都市農村交流の推進	1	元気な農村地域づくり事業 市内の農業ｲﾍﾞﾝﾄに対して補助金を交付(4ｲﾍﾞﾝﾄ)、都市部のｲﾍﾞﾝﾄに出展する農業者等を職員派遣により支援	農政課	2,900	2,913 (2,913)	市規定	単費	○	サービス	団体	補	3	個性魅力	2	B	現状維持
	2	都市農村交流推進事業 ｾﾐﾅｰの開催、自家製どぶろく研究を実施、農山漁村体験型旅行協議会に対して補助金交付等	農政課	409	– –	市規定	単費	○	サービス	団体	直・補	3	個性魅力	2	S	終了・廃止
	3	ふるさと共援活動支援事業 「ふるさと共援組織」を結成し集落の再生計画づくりと実践活動に対して補助金を交付(1集落)	農政課	500	– –	府規定	府・一部	含む	サービス	団体	補	3	個性魅力	2	A	終了・廃止
	4	里の人づくり事業 里力再生計画の策定及び地域の再生活動に対して補助金を交付(4地域)	農政課	6,000	9,000 (4,500)	府規定	府・一部	含む	サービス	団体	補	3	個性魅力	2	A	拡大
	5	明日の京都村づくり事業 農村ﾋﾞｼﾞﾈｽやI・Uﾀｰﾝ等の取組に対し補助金を交付	農政課	–	275 (25)	平成24年度予算未執行										
	6	ｸﾗｲﾝｶﾞﾙﾃﾝ管理運営事業 農園付宿泊施設及び周辺施設等の維持管理	農政課	2,533	3,020 –	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	2	A	現状維持
	7	農業関連施設管理運営事業【再掲】方針7 指定管理施設(3施設)・弥栄農家用貸付住宅(4棟)・弥栄都市農村交流施設の維持管理	農政課	1,628	10,073 (9,974)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・指	3	個性魅力			
9　足腰の強い農業・農村の基盤づくり	1	農業総務一般経費 農業行政推進に必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出	農政課	5,191	3,598 (3,598)	なし	単費	○	内部管理	―	―	―	―	1	B	現状維持
	2	農業経営基盤強化促進基本構想策定事業 市の基本構想を見直すため、検討委員会を設置し、変更案の検討を実施し、見直しを完了	農政課	60	– –	国規定	単費	○	サービス	事業者	直	4	民間補完福祉増進	1	S	終了・廃止
	3	小規模土地改良事業補助金 集落等が実施した農業用施設の維持管理に係る機械借上料・原材料費に対して補助金を交付(交付件数27件)	農林整備課	3,837	3,000 (3,000)	市規定	単費	○	維持管理	団体	補	4	民間補完福祉増進	4	A	現状維持
	4	小規模農業基盤整備事業 機能低下した農業用施設の改修工事(5件)、府の道路工事の支障となる揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ場の移動設計(2件)	農林整備課	5,080	7,000 (2,450)	市規定	単費	○	維持管理	団体	直・委	4	民間補完福祉増進	4	S	現状維持
	5	農地･水保全管理支払交付金事業 地域ぐるみの共同活動と農村環境向上活動を支援(共同活動105組織、向上活動107組織)	農林整備課	53,360	54,317 (47,482)	国規定	府・一部	–	サービス	団体	直・負	2	特定サービス	4	S	拡大
	6	換地処理事業 ほ場整備工事完了後の換地処分未了地区において、計画書作成(弥栄町吉野地区)及び登記を実施(弥栄町野間地区)	農林整備課	1,292	1,461 (1,461)	国規定	単費	○	サービス	市民	直・委	6	生命財産権利保護	1,4	A	終了・廃止
	7	里の農業生産基盤整備事業 機能が低下した農地や土地改良施設の改修及び改良を実施	農林整備課	560	21,581 (2,674)	府規定	府・一部	–	維持管理	団体	直・委	4	民間補完福祉増進	4	S	現状維持
	8	農業体質強化基盤整備促進事業 維持管理が困難又は老朽化が著しい農業生産の基盤となる農業用施設等の改修を実施	農林整備課	55,238	– –	国規定	国・一部	–	施設整備	団体	直・委・補・負	4	民間補完福祉増進	4	S	終了・廃止
	9	農業体質強化基盤整備促進事業【明許繰越】 平成24年度事業の一部を繰り越しして実施する事業	農林整備課	–	44,821 –	平成24年度事業の一部を繰り越しして実施する事業										
	10	農地一般経費 農業農村整備事業を円滑に推進するための経費	農林整備課	3,488	3,947 (3,906)	なし	単費	○	施設整備	団体	直・補・負	4	民間補完福祉増進	4	B	現状維持
	11	経営体育成基盤整備事業 府営ほ場整備事業の市及び地元負担金の納入(大宮町森本地区)	農林整備課	21,492	3,501 (206)	国規定	府・一部	–	施設整備	団体	直・委・負	4	民間補完福祉増進	1,4	S	拡大
	12	ため池等整備事業 府営ため池等整備事業(丹後町大山堰は固定堰を自動倒伏の可動堰に更新)の負担金の納入	農林整備課	3,993	20,000 (1,600)	府規定	単費	○	施設整備	団体	負	4	民間補完福祉増進	4	S	現状維持
	13	農業水利施設保全合理化事業 府営農業水利施設保全合理化事業(森本地区への用水源のﾌｧﾌﾞﾘ井堰の改修)の負担金の納入	農林整備課	4,000	– –	府規定	単費	○	施設整備	団体	負	4	民間補完福祉増進	4	S	終了・廃止
	14	土地改良施設維持管理適正化事業 土地改良施設管理の診断及び指導(15か所)、土地改良施設維持管理適正化事業賦課金(7地区)	農林整備課	6,153	18,320 (3,628)	国規定	他	–	施設整備	団体	直・委・負	4	民間補完福祉増進	4	S	現状維持
	15	農村災害対策整備事業【明許繰越】 ため池及び水路の改修工事を実施(久美浜町向町地区)	農林整備課	17,415	– –	国規定	府・一部	–	施設整備	市民	直・委	6	生命財産権利保護	5	S	終了・廃止
	16	農村災害対策整備事業 水路及び防火水槽設置工事を実施(6か所)	農林整備課	59,931	– –	国規定	府・一部	–	施設整備	市民	直・委	6	生命財産権利保護	5	S	終了・廃止
	17	団体営調査設計事業 ほ場整備事業採択に向け、地形図の作成、環境調査及び調査設計業務を実施(久美浜町女布地区)	農林整備課	13,314	2,500 (2,500)	府規定	国・一部	含む	施設整備	団体	直・委	4	民間補完福祉増進	4	S	現状維持
	18	特定農業用管水路等特別対策事業【明許繰越】 農業用管水路(石綿管)の改修工事を実施(3か所)	農林整備課	13,787	– –	国規定	国・一部	含む	施設整備	団体	直・委・補・負	6	生命財産権利保護	4	S	終了・廃止
	19	特定農業用管水路等特別対策事業 農業用管水路(石綿管)の改修工事と改修工事に向けた測量設計等を実施	農林整備課	15,440	15,070 (370)	国規定	国・一部	含む	施設整備	団体	直・委・補・負	6	生命財産権利保護	4	S	終了・廃止
	20	特定農業用管水路等特別対策事業【明許繰越】 平成24年度事業の一部を繰り越しして実施する事業	農林整備課	–	29,630 –	平成24年度事業の一部を繰り越しして実施する事業										
	21	現年発生農地･農業用施設災害復旧事業【明許繰越】 災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため、災害復旧工事を実施(21か所)	農林整備課	30,398	– –	国規定	国・一部	–	施設整備	市民	直・委・補	6	生命財産権利保護	5	S	終了・廃止
	22	農業委員会活動事業 農地法等に基づく許認可の審査の実行・諸証明の発行、農業委員会だよりの発行（年3回）	農業委員会事務局	9,051	9,481 (9,481)	義務	単費	○	―	―	―	―	―	1	A	現状維持
	23	農業者年金事務 農業者年金加入者及び受給者の適正な資格の管理(受給者数541人)	農業委員会事務局	608	609 (1)	国規定	他	–	サービス	市民	直	2	特定サービス	1	B	現状維持
	24	農業経営基盤強化事業 市内の国有農地・開拓財産の適正管理(市内国有農地等13,886㎡)	農業委員会事務局	39	21 (1)	国規定	国府全額	–	内部管理	―	―	―	―	1	B	現状維持
	25	農地制度実施円滑化事業 遊休農地利活用推進員・農地相談員を設置し、農地の利用調査・調整等を実施(調査642件、調整343件)	農業委員会事務局	4,640	4,706 (499)	国規定	国・一部	–	サービス	市民	直	2	特定サービス	1	B	現状維持
	26	農業委員会一般経費 農業委員会事務局の事務等に要する経費	農業委員会事務局	315	592 (592)	義務	単費	○	―	―	―	―	―	1	B	現状維持
10　有害鳥獣対策の強化	1	獣害防止里山林整備事業【明許繰越】 人と獣との緩衝帯を設置するﾓﾃﾞﾙ事業として森林整備事業(樹下植栽（改良、作業路開設)を実施	農林整備課	1,551	– –	国規定	国・一部	–	維持管理	市民	直・委	7	生活維持確保	3	A	現状維持
	2	獣害防止里山林整備事業 人と獣との緩衝帯を設置する里山の整備を行うため、不要木の伐採と作業路の開設を行い、伐採木を搬出	農林整備課	–	1,126 (302)	事業実施が必要な年度に実施										
	3	有害鳥獣捕獲事業 有害鳥獣の捕獲(イノシシ910頭、シカ2,096頭、サル56頭、小動物252匹、鳥類470羽)	農林整備課	35,488	34,008 (18,235)	府規定	府・一部	含む	サービス	市民	直・委・補	6	生命財産権利保護	3	S	現状維持
	4	獣害等防止特別対策実験実証事業 耕作放棄地解消・緩衝帯設置のための牛の放牧に対し補助金を交付(大宮町五十河・久美浜町佐野地区)	農林整備課	100	– –	府規定	国府全額	–	サービス	市民	補	6	生命財産権利保護	3	C	休止
11　地域資源の利活用	1	環境保全型農業直接支払交付金事業 環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、補助金を交付(47件)	農政課	2,917	4,998 (2,376)	国規定	国・一部	含む	サービス	事業者	補	4	民間補完福祉増進	1	S	拡大
	2	猪･鹿肉処理施設運営管理事業 「京たんご　ぼたん・もみじ比治の里」の維持管理及び運営(搬入頭数：猪66頭、鹿398頭)	農林整備課	9,668	10,216 (2,901)	なし	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	3	B	現状維持
	3	液肥普及推進事業【再掲】Ⅱ－④ 「環のちから」の販路拡大のための農家向け勉強会(1回、参加者：19人)等を実施	環境バイオマス推進課	207	– –	なし	単費	○	サービス	市民	直	3	個性魅力	2	A	現状維持
			計	631,442	854,528 (190,637)											

※　合計金額には再掲事業を含んでいません。

５. 歳出抑制の考え方について　ＡＣＴ

	No.	歳出抑制の考え方 （平成26～28年度までの3か年で取り組む歳出抑制）	一般財源抑制見込額 （単位：千円）	補完・代替措置などがある場合は、その内容
施策における歳出抑制の考え方	1	農業関連施設管理運営事業において、工事費、備品購入費等の経費を抑制する。	8,300千円	
	2	里の人づくり事業において、平成25年度をもって新規採択は廃止。事業は平成28年度まで継続。	3,750千円	明日の京都村づくり事業(地域資源を活用した「一村一業」活動の支援(3か年/地域)
	3	ｱｸﾞﾘｾﾝﾀｰ管理運営事業において、備品購入費を抑制する。	500千円	
	4	農地継承円滑化事業において、事業費総額を抑制(補助金の縮小)する。	434千円	
	5	認定農業者対策事業において、支援総額を抑制(補助金の縮小)する。	200千円	
	6	食品関連企業参入促進事業において、補助金を縮小する。	685千円	

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	05利子助成事業

細事業名	01 利子助成事業	決算書	P.212

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
935千円	936千円	1千円	99.8 ％	922千円

目的	農業制度資金を借り入れた農業者に利子助成し、安定的な農業経営を図る。
主要な事務・事業及び成果の概要	農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者及び低温被害を受けた梨生産農家に対して利子助成を行った。 ○農業経営基盤強化資金利子補給金　756千円 農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者（16人、20件） ○梨低温被害農林漁業セーフティネット資金利子助成金　179千円 低温被害を受けた梨生産農家（11人、11件）
主な財源	府補　農業経営基盤強化資金利子助成費補助金（1/2）　378千円
評価・課題等	対象者に利子助成を行い、農業経営基盤強化・安定を推進することができた。
事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	01農業技術者協議会活動促進事業

細事業名	01 **農業技術者協議会活動促進事業**	決算書	P.214

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
3,426千円	3,562千円	136千円	96.1 ％	3,562千円

目的

農業経営基盤強化促進法に基づき、農業振興を図るために設置された農業技術者協議会の活動を支援することにより、市内全体の農業振興を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の審査機関としての機能を有した農業技術者協議会において、個別具体的な経営基盤強化の推進について検討を行った。また、認定農業者・集落営農等の担い手育成のため、農業経営改善支援センターを中心に経営相談及び経営改善計画の作成指導を行い、経営基盤強化の促進に資する活動を行った。

○農業技術者協議会活動経費　3,426千円
- 農業経営改善支援センター嘱託員報酬（1人、12か月）　1,827千円
- 社会保険料、雇用保険料　287千円
- 費用弁償　112千円
- 農業技術者協議会負担金　1,200千円

＜活動実績＞
- 認定農業者育成数　26人 （新規9人、更新17人）
- 農業法人育成数　2法人
- 経営改善相談活動
  - 相談活動日数　延べ　75日
  - 対象人数　延べ 162人
- 生物多様性を育む農業推進セミナー
  - 開催日：平成25年1月28日
  - 会　場：アグリセンター大宮
  - 内　容：生物多様性を育む農業のすすめ
  - 参加者：約80人

主な財源

府補　認定農業者等確保･育成支援事業費補助金　600千円

評価・課題等

○認定農業者・集落営農等の担い手の育成及び農用地の利用集積の推進により、市内全体の農業振興を図った。
○更に認定農業者の増加と農業法人化の推進を行う必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

<table>
<tr><td>予算科目</td><td>06農林水産業費</td><td>01農業費</td><td colspan="2">04農政推進費</td><td colspan="3">03農地流動化対策事業</td></tr>
<tr><td>細事業名</td><td colspan="5">02 土地利用調整推進事業</td><td>決算書</td><td>P.216</td></tr>
<tr><td>総合計画</td><td>基本方針</td><td colspan="2">Ⅰ　交流経済都市</td><td>計画項目</td><td colspan="3">②　農林業の振興</td></tr>
<tr><td colspan="2">決算額　①</td><td colspan="2">最終予算額　②</td><td colspan="2">不用額　(②－①)</td><td>執行率</td><td>（参考）当初予算額</td></tr>
<tr><td colspan="2">168千円</td><td colspan="2">169千円</td><td colspan="2">1千円</td><td>99.4 %</td><td>179千円</td></tr>
<tr><td>目的</td><td colspan="7">公益社団法人京都府農業総合支援センターからの農地保有合理化事業業務を受託し、担い手への農地集積や適正な農地の保全を図る。</td></tr>
<tr><td>主要な事務・事業及び成果の概要</td><td colspan="7">京都府農業総合支援センターから農地保有合理化事業業務の受託に係る経費
・消耗品費　135千円
・印刷製本費　33千円

※農地保有合理化事業の実績
・峰山町　内記団地　0.4ｈａ
・峰山町　二箇団地　1.7ｈａ
・大宮町　善王寺団地　7.0ｈａ
・大宮町　中ノ谷団地　0.6ｈａ
・大宮町　奥大野団地　1.5ｈａ
・弥栄町　黒部団地　12.0ｈａ
・弥栄町　堤団地　1.1ｈａ</td></tr>
<tr><td>主な財源</td><td colspan="7">諸収入　農地保有合理化促進事業等業務委託金（10/10）　168千円</td></tr>
<tr><td>評価・課題等</td><td colspan="7">○京都府農業総合支援センターからの受託業務である国営農地の利用権設定に係る調整業務を適切に実施することで、担い手農家への農地集積が図れた。
○農地集積を円滑に図るため、国営団地内での利用権設定の調整を効率的に進める必要がある。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事 業 所 管 課</td><td colspan="6">農林水産環境部／農政課</td></tr>
</table>

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業
細事業名	03 **農地継承円滑化事業**		決算書	P.216
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
534千円	534千円	0千円	100.0 %	250千円

目的

公益社団法人京都府農業総合支援センターが農地バンクにより地主から借り入れた農地の維持管理経費について支援し、当該農地を優良な状態で担い手に集積する。

主要な事務・事業及び成果の概要

該当農地の維持管理に必要な経費について、京都府農業総合支援センターに対して補助金を交付した。

○農地継承円滑化事業費補助金　534千円

団地名	借入面積	事業費（20千円/10a）	補助金額（補助率1/4）
国営堤団地	730a	1,460千円	365千円
国営高山団地	241a	482千円	120千円
国営中ノ谷団地	98a	196千円	49千円
計	1,069a	2,138千円	534千円

主な財源

評価・課題等

○京都府農業総合支援センターが農地バンクから借り入れた農地の維持管理に要した費用（草刈り、耕起）について支援したことで、未耕作農地を良好な状態で維持することができた。
○農地バンクへの登録や実践学舎用地として活用するなど、国営農地に未耕作地が発生することのないよう対処していく必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業		
細事業名	04 **農地集積総合対策事業**				決算書	P.216
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
550千円	551千円	1千円	99.8 %	4,490千円

目的

地域での徹底的な話し合いを通じて、地域農業のあり方について議論を進めることで、中核的な担い手への農地集積を促し、地域農業の競争力・体質強化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

京力農場プランの作成を推進していく必要があることから、平成25年1月に農業経営者会議、農業委員会、京都府、JA京都など関係機関の代表者で組織する「京力農場プラン検討会」を設置し、集落単位で作成された京力農場プラン（案）について検討及び審査を行った。

○京力農場プラン検討会活動経費 550千円
- 検討委員謝金 32千円
- 消耗品費 28千円
- 印刷製本費 490千円

「京力農場プラン検討会」
委員数：8人、検討会：2回開催

※京力農場プラン作成実績（10地区）
- 大宮町　森本地区（モデル地区）
- 網野町　網野地区、小浜地区、国営島津2地区
- 弥栄町　木橋地区、鳥取地区、黒部地区
- 久美浜町　島地区、女布地区、品田地区（モデル地区）

主な財源

府補　戸別所得補償経営安定推進事業費補助金（10/10）　550千円

評価・課題等

○担い手の確保・育成や農地集積計画などを総合的にまとめた「京力農場プラン」を10地区作成したことにより、該当地域における5年後に目指すべき姿を明確にすることができた。
○市内の全集落でプラン策定に向けた取組を進める必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04農業団体等育成強化事業

細事業名	01 **農業団体等育成強化事業**	決算書	P.216

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
1,434千円	1,500千円	66千円	95.6 %	1,500千円

目的

積極的な活動を行う農業団体等の育成支援を行い、活力ある地域農業の実現を目指す。

主要な事務・事業及び成果の概要

集落・地域営農組織への農地集積や作業受託を推進するため、機械・施設等の導入に対して補助金を交付した。

○農業団体等育成強化事業補助金　1,434千円

・農業生産振興団体活動支援事業（2団体）

事業主体	内　　容	事業費	補助金額
ＡＦグループ	保冷庫へのエアコンの設置8台	1,253千円	400千円
峰山町京みず菜部会	スーパーソイラー1台	395千円	197千円

・集落営農団体等活動活性化事業（2団体）

事業主体	内　　容	事業費	補助金額
延利農産グループ	業務用籾擦機1台	1,043千円	500千円
丹後岩木ファーム	ハンマーナイフモア1台　付属機械	675千円	337千円

主な財源

評価・課題等

○農業団体による作業の効率化・合理化が推進され、農家経営の安定と組織の育成強化につながった。
○担い手不足が進行している中で、集落内の作業受託等を請け負う集落営農組織等の育成が必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	05認定農業者対策事業
細事業名	01 **認定農業者対策事業**		決算書	P.216
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
3,197千円	3,200千円	3千円	99.9 ％	3,200千円

目的

認定農業者の営農及び農業経営を支援し、地域農業の振興及び活性化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

認定農業者への農地集積や作業受託が進むよう、農業経営改善計画による機械・施設導入経費に対し支援を行った。

○認定農業者支援事業補助金（経営規模拡大支援事業） 3,197千円

区分	件数	内容	事業費	補助金額
峰山町	1件	コンバイン4条刈1台	3,800千円	180千円
大宮町	1件	パイプハウス1棟	1,032千円	500千円
網野町	3件	トラクター用アタッチメント1台	750千円	375千円
		スプリンクラー1式	1,200千円	500千円
		トラクター1台	4,000千円	180千円
丹後町	1件	ジェットシーダー1台	924千円	462千円
久美浜町	2件	スピードスプレーヤー1台	2,300千円	500千円
		乗用田植機1台	2,040千円	500千円
計			16,046千円	3,197千円

主な財源

府補 未来づくり交付金（認定農業者支援事業補助金） 1,000千円

評価・課題等

認定農業者の機械・施設の導入費用に対し支援することにより、担い手の育成と農作業の効率化が図れた。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業

細事業名	01 **実践農場整備支援事業**	決算書	P.216

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
660千円	660千円	0千円	100.0 ％	660千円

目的

新規就農希望者を受け入れ、農業技術等の研修を実施し、地域農業の担い手の確保・育成を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

就農研修を実施する研修者に対する後見人の設置、研修用施設整備の支援を行い、就農に向けた実践的な研修整備を行った。

○新規就農者実践農場整備支援事業補助金　660千円

内　容	積　算	事業費
後見人設置費	5千円/月×12月（2年目）	60千円
研修用施設整備費	600千円/年（上限）（2年目）	600千円
合　計		660千円

主な財源

府補　新規就農者実践農場整備支援事業補助金　329千円

評価・課題等

○新規就農者の実践的な研修は、地域との関係づくりに有効な事業であり、新規就農者の確保・育成に役立っている。
○研修希望者の目指す農業に有効な研修となるよう、研修後にスムーズな就農につなげられるよう、京都府と連携したサポート強化が必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業	
細事業名	02 **就農研修資金償還金助成事業**			決算書	P.216
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
6,684千円	6,684千円	0千円	100.0 %	6,684千円

目的

就農研修の後、営農開始する就農者の就農初期における負担を軽減することで新規就農者の確保・育成を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

京都府就農研修資金を借り受け就農研修を行った後、就農する者に対し、研修資金の償還に対する助成を行った。

○就農研修資金償還金助成金　6,684千円

就農研修資金を借り受けた者のうち、年齢や就農地の一定要件を満たす者に対し、5年間就農後、研修資金の償還に対し助成した。

区　分	対象者数	補助金額
峰山町	2人	1,440千円
大宮町	3人	1,788千円
網野町	1人	720千円
弥栄町	4人	2,736千円
合　計	10人	6,684千円

主な財源

府補　就農研修資金償還金助成事業費補助金（1/2以内）　3,342千円

評価・課題等

○新規就農者の就農後の経営安定の一助となる事業であり、新規就農者の育成が図れた。
○今後も京都府と連携した就農後のサポート強化が必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業
細事業名	04 新規就農総合支援事業		決算書	P.216
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
8,646千円	8,646千円	0千円	100.0 %	3,327千円

目的

就農後の所得を確保するための給付金を交付し、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

京力農場プランに地域の中核的担い手として位置付けられる45歳未満の独立・自営型就農者に対し、給付金を給付した。

○新規就農総合支援事業補助金　8,625千円

区　分	プラン地区	対象者数	補助金額
峰山町	鳥取・国営島津2団地	2人	1,500千円
網野町	網野・浜詰	3人	1,875千円
弥栄町	黒部・木橋	4人	4,500千円
久美浜町	金谷	1人	750千円
合　計		10人	8,625千円

※補助金額の内訳
峰山町　750千円（半年分）×2人＝1,500千円
網野町　750千円（半年分）×1人＝　750千円
　1,125千円（半年分）×1夫婦（2人）＝1,125千円
　（※夫婦受給の場合は、×1.5倍の補助金額になります）
弥栄町　750千円（半年分）×2人＝1,500千円
　1,500千円（1年分）×2人＝3,000千円
久美浜町　750千円（半年分）×1人＝　750千円
（※要件達成時期により半年分受給者と１年分受給者とがある）

○推進事務費（消耗品費）　21千円

主な財源

府補　新規就農総合支援事業費補助金（10/10）　8,645千円

評価・課題等

○経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し給付金を給付することで、就農意欲の喚起と就農後の定着につながった。
○給付要件である京力農場プランの策定を円滑に行い、独立・自営型就農者の確保及び育成を図る必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業
細事業名	05 **京丹後農業経営実践型学舎推進事業**		決算書	P.216
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目 ② 農林業の振興	

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
8,000千円	140,213千円	132,213千円	5.7 %	0千円

目的

京都府と京丹後市が共同で大規模経営者の育成に総合的に取り組む「京丹後農業経営実践学舎」を創設し、安定的な農業生産の担い手となる農業経営者の育成を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

平成25年度から京丹後農業実践型学舎事業で実施するための用地の土地改良を行う負担金を京都府へ支出した。

○負担金、補助及び交付金

・学舎用地整備事業負担金 8,000千円

整備予定地 弥栄町（和田野団地3ha、芋野団地3ha、坂野団地1.5ha、鴨谷団地2.5ha）

整備内容 鳥獣対策用のフェンス設置、暗渠排水、堆肥投入、礫の除去等

参考		
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	8,000千円
	実質的な予算執行率	100.0%

■平成25年度への繰越事業 132,213千円

農業経営実践学舎整備事業（弥栄町和田野） 平成26年3月完成予定

主な財源

市債 農業経営実践型学舎用農地整備負担金事業債（公共事業等債） 8,000千円

評価・課題等

○平成25年度から京丹後農業実践型学舎事業を実施するために、学舎用地となる国営開発農地の整備をする負担金を平成24年度予算で支出し、事業実施の円滑化を図った。
○学舎生（年に10人程度受け入れていく予定）の増加に伴い、学舎用地を計画的に確保する必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	10集落営農発展型産地づくり事業

細事業名	01 集落営農発展型産地づくり事業	決算書	P.218

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
13,233千円	13,233千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

「京力農場プラン」に基づき集落営農組織等が取り組む農地集積・経営基盤強化に係る体制整備に対して支援を行い、地域農業の維持、発展を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

地域で策定された「京力農場プラン」に基づき、地域農業再生の核となる法人等の加工・流通販売の多角化や特別栽培米の生産拡大に係る支援を行った。

○集落営農発展型産地づくり事業費補助金　13,233千円

農産物加工や高度生産化に係る機械・施設整備に対する支援を行った。

事業実施主体	内　容	総事業費	補助金額
京丹後森本アグリ(株)	トラクター、コンバイン、乾燥機の導入	19,980千円	10,989千円
誠農海部(株)	農産物加工施設設置、野菜乾燥庫の導入	4,080千円	2,244千円

主な財源

府補　集落営農発展型産地づくり事業費補助金（1/2以内）　12,030千円

評価・課題等

○担い手が不足する地域をけん引する集落営農組織等への支援により、営農継続につながる体制強化が図れた。
○補助要件である「京力農場プラン」の策定段階から集落営農組織等の事業内容、役割等を明確にする必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	01経営体育成基盤整備事業	
細事業名	02 **経営体育成促進事業**			決算書	P.224
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目 ② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
401千円	403千円	2千円	99.5 %	710千円

目的

営農組織（法人）の設立、土地利用調整、法人の経営研修等を支援し、経営体育成基盤整備事業（森本地区）完了後の適正な農業経営を推進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

地域農業の担い手となる法人に対して、土地利用調整、法人経営研修を行った。また、適正施肥に必要な土壌分析、法人運営関係備品の整備を行った。

○経営体育成促進事業　401千円

＜会議等開催回数＞
農地集団化調整14回、農地流動化調整15回、事業推進検討会7回、
生産組織育成強化37回、農業機械利用再編2回

＜先進地視察＞
・視察先：兵庫県南あわじ市（淡路農産食品㈱）
・平成24年12月1日（土）、15人参加

・旅費（視察研修）	21千円
・消耗品費	70千円
・土壌分析委託料	235千円
・先進地視察バス借上料	75千円

主な財源

分担金	経営体育成促進事業分担金（1/10）	40千円
府補	経営体育成促進事業補助金（8/10）	320千円

評価・課題等

○農業法人への農地集積を進めるとともに、土地利用に係る研修を行い、地域農業の推進体制の強化を図ることができた。
○引き続き農地の利用調整を進めるとともに、主力となる水稲の高品質化、米の生産調整に伴う転作作物の収益の向上を図る必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業

細事業名	01 水田農業振興推進事業	決算書	P.218

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
23,995千円	24,002千円	7千円	99.9 %	25,405千円

目的

農業者戸別所得補償制度の円滑な推進を図るとともに、安全・安心で美味しい米づくりによる水田農業の振興を推進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

水田農業の振興を図るため、農業者戸別所得補償制度を推進するとともに、売れる米づくり推進のため、特別栽培米と良質米生産への取り組みに助成した。

○水田農業振興補助金（特別栽培米団地化推進） 13,598千円
- 栽培面積1ha以上 2,087,046㎡×5,804円/10a 12,113千円
- 栽培面積50a～1ha 508,843㎡×2,919円/10a 1,485千円

○日本一の特Ａ産地づくり推進事業費補助金 713千円
- 延利農産グループ 104千円 （土壌診断、葉緑素計）
- 五箇中山間保全会 451千円 （土壌診断、葉緑素計、積算温度計）
- 一分農事組合 158千円 （土壌診断、葉緑素計、積算温度計）

○数量調整円滑化推進事業の円滑な推進に係る経費 684千円
- 臨時職員賃金 474千円 （臨時職員賃金等）
- 需要費 210千円 （消耗品費）

○農業者戸別所得補償制度の推進に係る経費 9,000千円
- 謝金 1,513千円 （事業推進、現地確認謝金）
- 旅費 56千円 （出張旅費）
- 事務等経費 7,431千円 （臨時職員、消耗品等）

主な財源

府補	数量円滑化推進事業費補助金（10/10）	684千円
府補	戸別所得補償制度推進事業費補助金（10/10）	9,000千円

評価・課題等

○農業者戸別所得補償制度への加入推進と戸別所得補償の受領のための業務を行い、多くの農家が安心して農業経営を行うことができた。
○特別栽培米に対する団地化助成により、同一の作付方法での集団化が行われ、特別栽培米の質の向上につながった。
○農家の経営安定と米の需給調整につながる経営安定対策（旧農業者戸別所得補償制度）へ、さらに多くの農家の加入推進を行う必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	03京の水田農業総合対策事業

細事業名	01 京の米産地づくり事業	決算書	P.218

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
4,356千円	4,356千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

特別栽培米等の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業生産法人等を支援し、売れる米づくりを進める。

主要な事務・事業及び成果の概要

○京の米産地づくり事業補助金　4,356千円

（単位：千円）

事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備　考
五箇営農組合受託部	乗用コンバイン1台	8,400	3,780	峰山町 五箇地内
溝谷コンバイン組合	遠赤外線乾燥機1台	1,280	576	弥栄町 溝谷地内

主な財源

府補　京の米産地づくり事業費補助金（4/10）　3,872千円

評価・課題等

○特別栽培米用機械の整備により、刈り取り作業及び出荷作業の効率化が図られ、早期出荷による有利な販売につなげることができた。
○特別栽培米の拡大には農地の団地化と営農者の組織化が重要であり、今後、集落単位での指導などにより、取り組みを広げていく必要がある。

事 業 所 管 課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	02中山間地域等直接支払制度事業

細事業名	01 **中山間地域等直接支払制度事業**	決算書	P.214

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
65,577千円	65,578千円	1千円	99.9 %	62,849千円

目的

中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し、農業・農地の多面的機能を確保する取り組みを支援する。

主要な事務・事業及び成果の概要

耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から、農振農用地区域内の1ha以上の農地に対して、5か年（平成22年度～26年度）の協定を基に中山間地域等に直接交付金を支払った。

○中山間地域等直接支払制度推進事業　546千円

本制度の定着に向けて行う推進事務、協定農用地農業生産活動等の実施についての確認事務、直接支払交付金の交付事務経費

- 推進事務　430千円
- 確認事務　69千円
- 交付事務　47千円

○中山間地域等直接支払制度事業補助金　65,031千円

集落協定及び個別協定を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、その経費について交付金を交付した。

区　分	集落協定	個人協定	交　付　額
峰山町	4	0	5,422千円
大宮町	6	0	9,882千円
網野町	0	1	688千円
丹後町	9	0	9,295千円
弥栄町	3	0	5,191千円
久美浜町	23	0	34,553千円
合　計	45	1	65,031千円

主な財源

府補　中山間地域等直接支払制度事業補助金（3/4）　48,774千円
府補　中山間地域等直接支払制度推進事業補助金（10/10）　541千円

評価・課題等

○農業生産条件が不利な中山間地の傾斜のある農地を維持管理する集落等において、交付金を活用した共同取組活動等により、耕作放棄地の発生を防止することができた。
○将来を見据えた耕作放棄地の発生抑制に不可欠な、新規就農者や担い手を確保する必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	15葉たばこ作付転換緊急対策事業
細事業名	01 **葉たばこ作付転換緊急対策事業**		決算書	P.214
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
594千円	637千円	43千円	93.2 %	637千円

目的

葉たばこ廃作に伴い、他の作物への円滑な作物転換に対し支援を行う。

主要な事務・事業及び成果の概要

平成23年度をもって市内の葉たばこ栽培農家が全て廃作されたことに伴い、他の作物への円滑な転換を図るため、平成23年度に葉たばこを作付していた農地に新たな作物を作付した営農費用の一部を支援する。

○葉たばこ作付転換緊急対策事業補助金　594千円

補助対象者数
・大宮町　4人
・網野町　2人
・弥栄町　7人
・久美浜町　5人　計　18人

作付転換面積　2,970ａ

主な財源

評価・課題等

葉たばこ廃作に伴い、小菊・ゴボウなど他作物への円滑な転換につながり、農家の経営安定を図ることができた。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	05農業基盤整備促進事業

細事業名	01 **農業基盤整備促進事業**	決算書	P.226

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
20,000千円	20,000千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

国営団地における農作物の高付加価値化・品質向上等に取り組む上で経年劣化等により支障となる農業用施設等の改修を行い、経営規模拡大や戦略作物生産の促進を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

府営事業として農業用施設等の改修を行う準備を進めている。

○府営国営団地整備事業負担金　20,000千円

・府営事業負担金

市負担金　100,000千円　×　20%　=　20,000千円

※ 京都府は平成25年度への繰越事業として実施されるが、市の負担金は平成24年度に納付する必要があるため支出したもの。

主な財源

市債　国営団地整備負担金事業債（公共事業等債）　20,000千円

評価・課題等

府営事業である農業用施設等改修の準備を進めることができた。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	02国営開発農地維持管理事業

細事業名	01 国営丹後土地改良事業負担金	決算書	P.222

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
26,360千円	26,362千円	2千円	99.9 %	26,362千円

目的

国営土地改良事業に係る市及び受益者の負担金について、規定償還と繰上償還を行う。また、国営開発農地内の市有農地に係る賦課金を土地改良区に支払う。

主要な事務・事業及び成果の概要

負担金の計画的な償還及び繰上償還により、市及び受益者の負担軽減が図られた。また、国営開発農地で整備された施設の維持管理が図られた。

・国営丹後土地改良事業費負担金　26,276千円

	市負担金	受益者負担金	計
規定償還額	0千円	12,334千円	12,334千円
繰上償還額	9,505千円	4,437千円	13,942千円
計	9,505千円	16,771千円	26,276千円

※市負担金については、平成23年度までの繰上償還により完了

・丹後土地改良区賦課金（10ａ当り2,000円）　84千円

町名	団地名	面積	賦課金額
大宮町	三坂団地・大野団地	97.3a	19千円
網野町	郷団地	10.0a	2千円
弥栄町	芋野団地・木橋2団地	313.1a	63千円
計		420.4a	84千円

主な財源

負担金	国営農地開発事業負担金	7,380千円
負担金	国営農地開発事業負担金滞納繰越分	6,168千円

評価・課題等

○負担金の計画的な償還及び繰上償還により、市及び受益者の負担軽減が図られた。
○不景気により滞納者が増加しているが、引き続き納付に向けて訪問徴収を行う必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	50畜産振興一般経費		
細事業名	01 **畜産振興一般経費**				決算書	P.218
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
51千円	52千円	1千円	98.0 ％	252千円

目的	畜産行政事務及び畜産振興の円滑な推進を図る。
主要な事務・事業及び成果の概要	飼育状況調査の実施並びに家畜防疫に必要な事務を実施した。 ○畜産振興の円滑な推進に係る経費　21千円 （職員旅費（京都府口蹄疫防疫演習）、事務用品） ○京都府畜産振興協会会費　30千円
主な財源	
評価・課題等	畜産行政事務及び畜産振興の円滑な推進が図れた。
事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	06農業法人誘致対策事業		
細事業名	02 **食品関連企業参入促進事業**				決算書	P.216
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
302千円	302千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

農業者との契約栽培に取り組み、農業経営体を育成する機能を持つ食品関連企業に対し支援を行うことで、市内農産物の加工を促進し、地域雇用の拡大及び農家の所得向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

食品関連企業に対し、農産物加工事業の礎となる拠点整備に係る支援を行った。

○食品関連企業参入促進事業補助金　302千円

事業主体　：　株式会社アグリテック丹後（大宮町周枳）
事業内容　：　事務所設置（トイレ、下水工事含む）、事務備品、
集出荷用フォークリフト（1台）整備
事業費　：　6,058千円

※別途、府より直接補助　1,362千円（補助率22.5%）

主な財源

評価・課題等

○新たな食品関連企業の拠点整備への支援により、加工事業開始に向けた体制整備が図られた。
○加工事業に係る具体的な計画について、検討精査し今後の方向性の明確化を図る必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	09農産物流通対策事業
細事業名	01 **農産物流通対策事業**		決算書	P.216
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
975千円	1,007千円	32千円	96.8 %	0千円

目的

農業農村振興ビジョンに掲げた「京丹後の顔が見える流通」を進めるため、地産地消、地産都消、輸出等の新たな取り組みに対して支援し、農業者等の所得向上と販路拡大を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○流通戦略会議旅費　83千円
委員費用弁償等

○事務経費　137千円
普通旅費

○農産物流通対策事業補助金　755千円

事業実施主体	事　業　内　容	総事業費	補助金額
丹後熊野農産物 生産者グループ	農産物の流通経費 (輸送費、商談会への参加費等）	456千円	300千円
京都農業協同組合	農産物の流通経費 （集出荷運賃代等）	850千円	300千円
京都農業協同組合 峰山支店	はごろも天女米PR経費 （のぼり旗作成費用等）	234千円	155千円

主な財源

評価・課題等

○新たな流通を生み出すことに対する経費の支援を行うことにより、農家の積極的な挑戦を後押しすることができた。また、新たな販路が開拓され、農家の経営と所得の向上を図り、京丹後市のPRにもつながった。
○関係機関等で取組グループの情報共有を進めて、事業の活用についてこれまで以上にPRを行う必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	02茶生産特別支援事業

細事業名	01 **茶の極み塾支援事業**	決算書	P.210

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
509千円	510千円	1千円	99.8 %	510千円

目的

国営開発農地における茶生産の振興を図るため、荒茶加工の製造実習及びお茶の生産技術向上に向けた指導等を実施して茶生産者を育成する。

主要な事務・事業及び成果の概要

生産者の栽培及び製茶技術の研修指導等を行う「極み塾」の運営に係る経費について、負担金として支援を行った。

○普通旅費　9千円

○茶の極み塾の運営に係る負担金　500千円
茶の極み塾・京丹後の活動実績（活動実績額550千円）

・講義指導　3回　参加延べ人数　12人
茶業経営、栽培個別指導、緑茶審査技術研修会
品質改善研修、乗用型機械安全講習会

・実施研修　10回　参加延べ人数　55人
被覆資材管理実習、製茶実習（一番茶、二番茶）、乗用型管理機秋製枝実習
製茶実習（秋てん茶）

主な財源

評価・課題等

○平成22年5月から新設の製茶工場が稼動し、茶農家が主体となって荒茶製造に取り組んでいる。本事業により、市内の茶業参入農家に対し、茶園管理技術の向上、製茶技術等習得の取り組みを進めることができた。
○安定生産と品質向上に向け、専門機関による技術指導を継続実施するとともに、新規参入者の開拓と参入農家の技術共有、連携強化により、一層の産地化推進を図る必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	02茶生産特別支援事業

細事業名	02 **優良茶園振興事業**	決算書	P.210

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
966千円	966千円	0千円	100.0 %	3,152千円

目的

お茶の一大産地化を目指し、茶園の拡大、機械の導入等による省力化を進め、茶生産の振興を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

作業の省力化と品質向上のための機械導入について支援を行うとともに、雪害対策として茶園の樹勢回復に係る経費についても支援を行った。

○茶生産振興対策事業費補助金　966千円

（単位：千円）

事業実施主体	事　業　名	総事業費	補助金額
京丹後製茶株式会社	共同製茶等省力化推進事業 （ロータリーカッター1台）	525	262
京丹後製茶株式会社	共同製茶等省力化推進事業 （自走式両面裾落し機2台）	470	235
京丹後市茶生産組合	農産物等雪害対策支援緊急対策事業 （茶の樹勢回復事業）	939	469
合　計		1,934	966

主な財源

府補　茶業振興対策費補助金（4/10）　398千円
府補　茶業振興対策費補助金（1/2）　469千円

評価・課題等

○機械導入により作業の効率化と省力化を進めるとともに、市場ニーズにあった茶生産の振興が図れた。また、雪害被害による茶園の樹勢回復を図る資材購入に対し補助を行い、茶の品質向上を図った。
○初期投資の大きい茶業への新規参入は難しい面もあるが、有効な支援施策を検討し、生産者のさらなる所得の安定化を図ることで、茶の栽培農家を増やすことが必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ農産物育成支援事業
細事業名	01 ﾊﾟｲﾌﾟﾊｳｽ整備事業		決算書	P.212
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
3,282千円	3,282千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

施設の整備等を支援し、農産物のブランド化・生産性の向上等、京野菜の産地づくりを図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

丹後地域統一重点推進品目に位置づけられている、みず菜、九条ねぎの生産振興を図るため、遮光ネットの導入、被災したパイプハウスの復旧、パイプハウスの再生整備を補助し、産地形成に取り組んだ。

○パイプハウス等整備事業費補助金　3,282千円

（単位：千円）

事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備考
丹後町施設園芸生産組合	遮光ネット　一式	646	322	丹後町内
峰山町京みず菜部会	遮光ネット　一式	351	174	峰山町内
久美浜町九条ねぎ部会	遮光ネット　一式	1,254	626	久美浜町内
久美浜町京みず菜部会	遮光ネット　一式	1,019	508	久美浜町内
株式会社丹後岩木ファーム	被災ハウス復旧　2棟	2,679	1,338	丹後町 岩木地内
誠農海部株式会社	リサイクルハウス　1棟	629	314	久美浜町 品田地内
合計		6,578	3,282	

主な財源

府補　ほんまもん京ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ産地支援事業費補助金（45%）　2,957千円

評価・課題等

○丹後地域統一重点推進品目（みず菜、九条ねぎ等）の推進と市内農業団体の負担軽減を図り、経営と所得の安定を図った。
○丹後地域統一重点推進品目の推進については、品質・面積の確保と組織化が必須であり、今後、引き続きJA等の協力を得ながら指導、対応を行う必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ農産物育成支援事業

細事業名	02 **集出荷貯蔵調整機械･施設整備事業**	決算書	P.212

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
714千円	714千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

農業法人が、主に国営農地で生産した農作物の集荷・選別・貯蔵・出荷を行う集出荷貯蔵施設・設備等に対して支援することにより、産地の形成を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

国営農地の葉たばこ廃作に伴い丹後地域統一重点推進品目に位置付けられている小菊の生産振興を図るため、花卉自動選別機を導入した。

○生産･流通改善条件整備補助金　714千円

（単位：千円）

事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備　考
弥栄町小菊部会	花卉自動選別機　1台	1,430	714	弥栄町内

主な財源

府補　ほんまもん京ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ産地支援事業費補助金（45%）　643千円

評価・課題等

○丹後地域統一重点推進品目（小菊）の栽培を新規に取り組む組織のために選花機を導入し、出荷作業の効率化を図り、産地形成の一助となった。
○丹後地域統一重点推進品目の推進については、引き続きJA等の協力を得ながら指導、対応を行い、品質、面積の確保と組織化を進めていく必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	03京の水田農業総合対策事業
細事業名	02 京の黒大豆･小豆等産地づくり事業		決算書	P.218
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目 ② 農林業の振興	

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
270千円	270千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

飼料作物栽培における省力・効率化栽培用農業機械等を導入する地域営農組織などを支援し、耕畜連携による自給粗飼料の確保と供給体制づくりを進める。

主要な事務・事業及び成果の概要

○京の黒大豆・小豆等産地づくり事業補助金　270千円

（単位：千円）

事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備　考
農事組合法人　田吾作	溝切り機1台	600	270	久美浜町 布袋野地内

主な財源

府補　京の黒大豆･小豆等産地づくり事業費補助金（4/10）　240千円

評価・課題等

○機械導入により、取組地区内での黒大豆圃場の土壌改良作業の効率化が図れた。
○黒大豆等の産地拡大については作物の団地化や組織化等の条件があることから、今後の組織育成、指導などにより対象地区を広げていく必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	16雪害支援緊急対策事業	
細事業名	01 **雪害支援緊急対策事業（繰越）**			決算書	P.214
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目 ② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
10,140千円	13,178千円	3,038千円	76.9 %	13,178千円

目的

平成24年1月から2月の大雪により被害を受けた農業用施設の復旧に要した費用の一部を助成し、農業者の経営安定を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○雪害支援緊急対策事業費補助金　10,140千円

（単位：千円）

事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額
久美浜町京みず菜部会	パイプハウス復旧10棟	9,081	5,708
国営大井団地営農組合	果樹棚復旧6圃場	6,338	4,432

主な財源

府補　農業施設雪害対策事業費補助金　7,094千円

評価・課題等

○大雪により被害を受けたパイプハウス及び国営農地内部の果樹棚の復旧に要する費用の一部を助成することにより、農業者の経営安定を図ることができた。
○雪害等の災害については共済組合、JA等と協力し、市内の被害状況を把握するとともに、京都府との情報共有にも努め、復旧作業に係る補助事業の協議につなげる。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	01ｱｸﾞﾘｾﾝﾀｰ管理運営事業

細事業名	01 ｱｸﾞﾘｾﾝﾀｰ管理運営事業	決算書	P.220

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
6,076千円	6,195千円	119千円	98.0 %	6,460千円

目的

アグリセンター大宮の維持管理及び運営を行い、市内の農業関係者や農村地域のリーダー育成及び市民福祉の向上に寄与する。

主要な事務・事業及び成果の概要

市内の農業関係者の知識・技術習得及び農村地域のリーダー人材育成に係る研修や講演の会場として、さらに教育・福祉・産業に関する各種会議への活用により、地域農林業の振興並びに地域福祉の増進が図れた。

○需用費　2,924千円

消耗品費、ガス代・灯油代、電気・上下水道料金、修繕料（空調機器、プロジェクター等）

○役務費　通信運搬費、火災保険料　52千円

○委託料　3,049千円

施設清掃、空調設備保守点検、消防設備等保守点検、エレベーター保守管理、自動ドア保守点検、アグリセンター管理、設備保守管理、移動観覧席点検、害虫駆除、グリストラップ処理、特殊建築物・設備定期報告業務

○使用料及び賃借料　51千円

テレビ受信料、清掃用具借上料

（参考）利用実績

区　　分	利用件数	利用人数
農業技術研修室	267件	3,024人
視聴覚教育室	254件	5,907人
地域活性化研修室	165件	2,317人
多目的ホール（エントランス含む）	166件	14,555人
調理加工実習室	60件	823人
合　　計	912件	26,626人
農業文献等教養学習室（大宮図書館）	50,550冊	8,914人

※農業文献等教養学習室の利用件数は、図書の貸し出し冊数

主な財源

使用料　公有財産使用料　40千円
使用料　ｱｸﾞﾘｾﾝﾀｰ使用料　1,599千円

評価・課題等

○農林業の振興に係る研修会及び講演会の会場として活用できた。
○農林分野だけでなく、福祉や教育など幅広い分野で施設利用が図られた。
○築17年を経過する中で設備や機材の老朽化が目立つようになっている。利用者に安全な施設として活用されるよう、修繕を行い適切な施設管理を行う必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	02農業関連施設管理運営事業
細事業名	01 **農業関連施設管理運営事業**		決算書	P.220
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目 ② 農林業の振興	

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
1,628千円	1,632千円	4千円	99.7 %	762千円

目的

農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の適切な維持管理を行うことにより、農業施策を推進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

農業関連指定管理施設（3施設）、京丹後市弥栄農家用貸付住宅（4棟）、弥栄都市農村交流施設を適切に管理したほか、これらを含む農業関連施設（29施設）の火災保険に加入した。

○農業関連施設火災保険料（29施設） 163千円

○弥栄都市農村交流実践施設（もんやこ）維持管理 288千円
- 消防設備等点検委託料 19千円
- 浄化槽維持管理委託料 57千円
- 維持管理経費（光熱水費） 33千円
- 修繕料（屋根、天井、ガラス） 179千円

○久美浜総合交流販売施設（くみはまSANKAIKAN）維持管理 820千円
- 駐車場用地借上料（2,724㎡） 379千円
- 電気設備修繕工事 441千円

○大宮農産物加工直売施設（畔蔵） 210千円
- 水道取水口埋設工事 210千円

○弥栄農家用貸付住宅維持管理 117千円
- 修繕（4号） 117千円

○近畿「道の駅」連絡会会費（平成24年度分） 30千円

主な財源

使用料 貸付農家住宅使用料 1,092千円

評価・課題等

○農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の維持管理を行い、多くの使用者に適切に使用してもらうことができた。
○建築年数の高い建物もあることから利用者に安全な施設として活用されるよう、修繕及び適切な施設管理を行う必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	06里の基盤整備事業
細事業名	01 **里の生活環境基盤整備事業**		決算書	P.224
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
22,263千円	22,264千円	1千円	99.9 %	21,389千円

目的

過疎・高齢化が進む農村地域において複数集落による「地域連携組織」の設立・地域活動を支援し、住民主体による農村地域の活性化と地域住民の安心・安全の確保を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

複数の集落が連携・協力して策定した「里力再生計画」に基づき、生活環境基盤施設などの修繕・改修を行うとともに、地域の取り組みに補助金を交付した。

○久美浜町神野地域　20,237千円
- 測量設計委託料（神崎、鹿野）　2,384千円
- 工事請負費
  - 市道鹿野線側溝改修工事（鹿野）　Ｌ＝120m　3,992千円
  - 市道神崎線側溝改修工事1（神崎）　Ｌ＝40m　1,722千円
  - 市道神崎線側溝改修工事2（神崎）　Ｌ＝9m　4,834千円
  - 普通河川排水路整備工事1（鹿野）　Ｌ＝66m　830千円
  - 普通河川排水路整備工事2（鹿野）　Ｌ＝19.5m　987千円
  - 市道鹿野熊の谷側溝改修工事（鹿野）　Ｌ＝101.1m　4,081千円
- 補助金
  - 長柄ゲートボール場等整備（Ａ=560㎡）　928千円
    - 総事業費：1,072千円
  - 除雪用タイヤショベル格納庫整備（屋根改修等）　479千円
    - 総事業費：554千円

○弥栄町野間地域　2,026千円
- 工事請負費
  - 市道田中久保線舗装工事（霰）　舗装工Ａ＝44㎡　1,050千円
  - 普通河川排水路工事（中山）　排水工Ｌ＝4m
  - 市道来見谷大谷線　路肩修繕工事（来見谷）　法面工Ｌ＝9m
  - 里道維持修繕工事（霰）　Ｌ＝17.6m　976千円

主な財源

分担金	里の基盤整備事業分担金	387千円
府補	里の基盤整備事業費補助金（2/3以内）	14,603千円
市債	小規模基盤整備事業債（地域活性化事業債）	500千円
市債	道路改良事業債（合併特例債）	6,000千円

評価・課題等

○過疎・高齢化・後継者不足など課題を抱える地域において、住民主体でつくる「地域連携組織」が策定した「里力再生計画」に基づき生活環境基盤整備・格納庫等の改修を行い、大雨などによる災害時の安心・安全の基盤づくりができた。
○「里力再生計画」の事業内容において、実施できなかった事業についての精査など継続的な支援策の検討が必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	06里の基盤整備事業		
細事業名	03 **里の地域活力再生事業**				決算書	P.224
総合計画	基本方針	Ⅰ　交流経済都市	計画項目	②　農林業の振興		

決算額　①	最終予算額　②	不用額　(②－①)	執行率	（参考）当初予算額
4,768千円	4,768千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

「里力再生計画」を策定した地域において、地域が自ら設計・運営する生活交通や移住促進事業など、多様な地域課題を解決する事業の実践展開を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

複数の集落が連携・協力して策定した「里力再生計画」地域が、計画を基に事業を展開していくうえで、里の基盤整備事業の事業期間（計画策定年度から3年間）完了後の地域課題に対応するため、地域に対し補助金を交付した。

○里の基盤整備事業（里の地域活力再生事業）

【大宮町五十河地域】　4,768千円

・補助金

炊事棟及びトイレ施設整備（民家苑整備）　4,768千円

総事業費：5,842千円

主な財源

府補　里の基盤整備事業費補助金（2/3以内）　3,668千円

評価・課題等

○過疎・高齢化・後継者不足など課題を抱える地域において、住民主体でつくる「地域連携組織」が策定した「里力再生計画」に基づき地域活性化を推進するための拠点施設の改修整備を行い、産業及び雇用の基盤づくりができた。

○「里力再生計画」の事業内容において、実施できなかった事業についての精査など継続的な支援策の検討が必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業

細事業名	01 元気な農村地域づくり事業	決算書	P.212

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
2,900千円	2,913千円	13千円	99.5 %	2,913千円

目的

農業への理解を深め、展示や直販による地産地消の啓発及び地域活性化を図る。また、都市部での京丹後産農産物の販売・宣伝活動等により販路開拓・拡大を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

市内の農業イベントを通して、市内外の消費者に対し京丹後産農作物と農業・農村の活力をPRする取り組みに支援した。都市部の農業イベントへ参加し、京丹後産農産物を販売して販路開拓と広報活動を行う農業団体等を支援した。

○元気な農村地域づくりイベント事業補助金　2,867千円

（単位：千円）

地　域	イベント名	開催日	事業費	補助金額
大宮町	パンプキンフェスタ	9月 9日(日)	243	230
久美浜町	まるかじりまつり	10月21日(日)	1,780	1,350
丹後町	気張るふるさと祭り	11月18日(日)	900	700
弥栄町	秋の祭典	11月18日(日)	630	587
合　計			3,553	2,867

○職員旅費及び使用料　33千円

都市部のイベントに出展する農業者及び農業団体を支援するための職員派遣

・摂津市農業祭（職員派遣：1人）　13千円

日　時　：　平成24年11月10日（土）、11日（日）

場　所　：　摂津市役所駐車場

参　加　：　2団体

・京都府農林水産フェスティバル（職員派遣：2人）　20千円

日　時　：　平成24年11月27日（土）、28 日（日）

場　所　：　京都府総合見本市会館（パルスプラザ）

参　加　：　16団体

主な財源

府補　未来づくり交付金（元気な農村地域づくりｲﾍﾞﾝﾄ事業補助金）　1,000千円

評価・課題等

○市内4つのイベントを通して、地域特有の農産物や農村地域の魅力を発信できた。また、市外イベントに参加する団体等を支援することで、京丹後市農産物のPRや都市農村交流を図ることができた。
○市内の農業イベントについて、事業目的効果を検証し、より効果を高める事業内容や運営方法等を検討する必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	07都市農村交流推進事業

細事業名	01 **都市農村交流推進事業**	決算書	P.212

総合計画	基本方針	Ⅰ　交流経済都市	計画項目	②　農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
409千円	440千円	31千円	92.9 %	859千円

目的

農林漁業体験や農家漁家への民泊によって魅力ある地域資源をアピールし、農村・漁村への誘客を図り、都市農村交流を通じて地域の活性化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

農家漁家民宿開業の支援・拡大に努め、子ども農山漁村交流プロジェクトモデルツアーを実施して受入の実践・強化や、京丹後市農山漁村体験型旅行協議会の会員間のネットワークと体験モニターツアーの実施などを行った。また、新たな取り組みとして、大学との連携や農家民宿で提供する自家製どぶろくの研究を実施した。

○農林漁家民泊推進セミナー経費（セミナーテキスト印刷代）　53千円
　日　時　：平成24年8月27日（月）ほか3回
　場　所　：市役所及び現地研修（福井県若狭町）
　参　加　：23人

○子ども農山漁村交流プロジェクト推進経費（職員旅費）　5千円

○都市農村交流事業推進経費（職員旅費）　101千円
　（慶応義塾大学との連携、どぶろく研究）

○都市農村交流支援事業補助金　250千円
- 事業主体
  京丹後市農山漁村体験型旅行協議会（会員数：団体8、個人5）
- 事業内容
  会員施設の体験メニュー、提供手法などの検討
  体験モニターツアー実施

主な財源

評価・課題等

○体験メニューの検討や農家民宿開業セミナー等を実施し、新たに市内で3件の農家漁家民宿が開業した。また、京丹後市農山漁村体験型旅行協議会の会員間で連携した体験提供など都市農村交流を進める基盤が形成され、農村・漁村への誘客に資することができた。
○現在、市の旅行メニューは観光に特化したものがほとんどであるため、大学と連携しての地域づくりや農家民泊で出すどぶろくの製造など、新規体験型旅行メニューの整備開発が今後の都市農村交流の活性化において急務である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	11ふるさと共援活動支援事業
細事業名	01 **ふるさと共援活動支援事業**		決算書	P.214
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
500千円	500千円	0千円	100.0 %	500千円

目的

過疎化・高齢化の進んだ農村集落と大学、企業などの地域外の協力者で構成する「ふるさと共援組織」の活動を支援し、過疎化・高齢化の進んだ農村集落の再生を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

地域外の協力者等により「ふるさと共援組織」を結成し、集落の再生計画づくりや「ふるさと共援組織」が行う各種取り組みや活動に対して補助金を交付した。

○ふるさと共援活動支援事業補助金　500千円

・久美浜町箱石区（3か年事業のうち3年目）　500千円

小天橋観光協会、果樹観光協会や株式会社日進製作所との協働による集落再生計画に基づき、防潮保安林の整備として、都市部のボランティアも募集し、松苗の植林及び植林後の下刈り等を実施した。

平成24年度植栽等活動内容

	1回目	2回目	3回目
日時	7月7日（土）	11月24日（土）	11月25日（日）
内容	下刈・草取	植栽・下刈	植栽・下刈
参加人数	54人	81人	49人

主な財源

府補　ふるさと共援活動支援事業補助金（1/2）　250千円

評価・課題等

○過疎化・高齢化の進んだ集落の村づくりの取り組みを支援し、地元企業等との交流により集落の活性化が図れた。
○事業期間が終了した集落についても、地元と共援者の協働で、現在も活動を実施しており、活動の継続が図れるよう助言等の継続した支援が必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	12里の人づくり事業
細事業名	01 **里の人づくり事業**		決算書	P.214
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
6,000千円	6,000千円	0千円	100.0 %	6,000千円

目的

過疎・高齢化が進む農村地域において里力再生推進委員や住民団体が構成する「地域連携組織」が取り組む再生計画づくりや活動を支援し農村地域の再生を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

過疎・高齢化が進む農村地域の複数集落による「地域連携組織」が実施する里力再生計画の策定や活動を支援し、過疎・高齢化の進んだ農村地域の取り組みに補助金を交付した。

○里の人づくり事業補助金　6,000千円

・神野地域（3か年事業のうち3年目）　1,500千円

里力再生計画に基づき子育て支援「神野ひよこサロン」の実施や、桜の植樹、ノルディックウォークの実施、加工グループを設立し、先進地視察や試作品等の製造を行った。

・野間地域（3か年事業のうち2年目）　1,500千円

里力再生計画に基づき、地元野菜等を販売する朝市を実施、加工部を設立し味噌やこんにゃくを試作、ＨＰ等で情報発信、福祉バスの運行、観光ルートの開発、女性限定のアユ釣り教室、大学と連携してのマップ等作成を行った。

・佐濃地域（3か年事業のうち1年目）　1,500千円

各戸にアンケートを配付し、意見集約を図り、話し合いを重ねて地域の実情を把握し、里力再生計画を策定した。

その他、地域づくりに関する視察研修、いこいサロンの開設などを行った。

・大宮南地域（3か年事業のうち1年目）　1,500千円

アンケートやワークショップなどを開催し、話し合いを重ねて地域の実情を把握し、里力再生計画を策定した。

その他、地域づくりに関する視察研修、各種地区団体への周知などを行った。

主な財源

府補　里の人づくり事業費補助金（1/2）　3,000千円

評価・課題等

○過疎・高齢化が進む農村地域の複数集落が実施する事業であり、それぞれの集落の実情を住民主体で把握し、複数集落で話し合い活動を行うことで、現状の課題や将来像を見据えた計画を策定し、その計画に基づく活動を行うなど、住民自らが望む地域づくりの取り組みが図れた。
○事業期間が終了した集落についても、現在でも集落間地域づくり活動を実施しており、活動の継続が図れるよう助言等の継続した支援が必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	03ｸﾗｲﾝｶﾞﾙﾃﾝ管理運営事業

細事業名	01 ｸﾗｲﾝｶﾞﾙﾃﾝ管理運営事業	決算書	P.220

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
2,533千円	2,561千円	28千円	98.9 ％	2,930千円

目的

蒲井・旭地域振興計画に基づき施設整備した施設の維持管理を行い、短期型から滞在型観光への転換を目指し、農村と都市との交流を深める中で農業振興と地域活性化に資する。

主要な事務・事業及び成果の概要

クラインガルテン整備に係る農園付宿泊施設（ラウベ）及び周辺施設等の維持管理を行った。

○需用費 478千円
消耗品費、除雪機・草刈り機燃料代、電気代、水道修繕料

○役務費 62千円
交流会案内等郵送料、浄化槽法定検査料、ケーブルテレビ一時停止手数料、火災保険料

〔クラインガルテン交流会の開催〕
平成24年7月7日 参加者15人
平成24年7月22日 住民祭り（蒲井・旭）

○委託料 1,846千円
施設清掃、水質検査、浄化槽維持管理、施設ごみ運搬、クラインガルテン管理運営

○使用料及び賃借料 147千円
土地借上料：3,475㎡

主な財源

使用料 市民農園使用料 2,533千円

評価・課題等

主に都市部からの入居者が滞在する宿泊施設及び共用部分の維持管理を実施し、多くの入居者に来園していただくとともに、7月には入居者と地元住民の交流会が実施され、地域間交流が図られた。

事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	02農業総務費	50農業総務一般経費		
細事業名	01 **農業総務一般経費**				決算書	P.210
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
5,191千円	5,387千円	196千円	96.3 %	6,450千円

目的	農業行政を推進するための業務に必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出し、農業振興を図る。
主要な事務・事業及び成果の概要	農業行政を推進するため必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出した。 農業総務一般経費 5,191千円 ○旅費 231千円 ○需用費 768千円 事務消耗品、公用車燃料代、一般修繕等 ○役務費 303千円 公用車廃車手数料、公用車保険料等 ○委託料 農業総合地図情報システム保守委託料 1,732千円 産休育休代替事務補助業務人材派遣委託料 1,950千円 ○使用料及び賃借料 19千円 有料道路通行料等 ○負担金、補助及び交付金 149千円 全国中山間地域振興対策協議会、 野菜等経営安定 対策事業負担金、丹後米改良協会負担金ほか会費等 ○公課費 39千円 公用車重量税
主な財源	
評価・課題等	○農業行政の推進が適切に図れた。 ○公用車の老朽化が進み燃料費等の維持管理及び修理代が増加傾向にあるため、計画的な車両更新が必要である。
事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	08農業経営基盤強化促進基本構想策定事業
細事業名	01 **農業経営基盤強化促進基本構想策定事業**		決算書	P.216
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
60千円	154千円	94千円	38.9 %	154千円

項目	内容
目的	農業経営基盤強化促進法に基づき、京丹後市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想の変更を行う。
主要な事務・事業及び成果の概要	平成23年3月に京都府の農業経営基盤強化促進基本方針が変更されたことを受け、農業経営基盤強化促進法に基づき、「京丹後市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」の見直しを行う必要が生じたことから、本市の基本構想の見直しを行うため基本構想検討委員会を設置し変更案の検討を行った。 ○農業経営基盤強化促進基本構想検討委員謝金　60千円 第3回検討委員会　4千円×7人＝28千円 第4回検討委員会　4千円×8人＝32千円 ※基本構想検討委員会開催実績 ・平成23年 9月5日　第1回検討委員会開催 ・平成23年11月4日　第2回検討委員会開催 ・平成24年7月18日　第3回検討委員会開催 ・平成24年8月24日　第4回検討委員会開催 ○完了日（公告日）：平成24年12月4日 ○基本構想の期間　：平成24年12月～平成34年11月（10年間）
主な財源	
評価・課題等	○京丹後市における今後10年間の効率的かつ安定的な農業経営体等の確保・育成や農用地の集積目標等に関する施策の推進のための方針となる市基本構想の見直しが完了した。 ○今後、基本構想に明記された営農類型に即した農業経営体を育成していく必要がある。
事業所管課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業		
細事業名	01 小規模土地改良事業補助金				決算書	P.222
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
3,837千円	4,000千円	163千円	95.9 %	3,500千円

目的

農業用水路等の老朽化が進む中、地域の維持管理の効率的な取り組みを支援し、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

各地区及び農業団体が実施した小規模土地改良事業による施設の維持管理に対して、機械借上料、原材料費について補助金を交付した。

・小規模土地改良事業補助金　3,837千円

地　域	箇所数	補助金額
峰山町	5	1,041千円
大宮町	2	95千円
網野町	8	925千円
丹後町	6	1,176千円
弥栄町	1	56千円
久美浜町	5	544千円
合　計	27	3,837千円

主な財源

府補　未来づくり交付金（小規模土地改良事業補助金）　1,500千円

評価・課題等

○補助金を交付することにより、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧が図られた。
○市の補助金等に関する基本方針に基づき、平成27年度に向け助成率の見直しの検討が必要である。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業

細事業名	02 小規模農業基盤整備事業	決算書	P.222

総合計画	基本方針	Ⅰ　交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額　①	最終予算額　②	不用額　(②−①)	執行率	（参考）当初予算額
5,080千円	5,093千円	13千円	99.7 %	6,000千円

目的

老朽化等により機能が低下した土地改良施設等の小規模な改修・改良を行い、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

老朽化等により機能が低下した土地改良施設の改修及び改良を行った。また、京都府の道路工事により支障となる揚水ポンプ場の移設設計を行った。

○需用費（修繕料）		544千円
久美浜　川崎川防潮樋門点検修繕工事	450千円	
久美浜　川崎川防潮樋門油圧シリンダー室排水ポンプ修繕	94千円	
○委託料（調査設計委託料）		987千円
弥栄　国久地区揚水施設設計業務	494千円	
弥栄　国久地区揚水施設設計業務（その2）	493千円	
○工事請負費		3,549千円
大宮　田井垣排水路安全施設改修工事（1か所）	1,050千円	
久美浜　谷揚水機改修工事	1,281千円	
久美浜　谷揚水機改修工事（その2）	1,218千円	

主な財源

分担金	小規模基盤整備事業分担金	815千円
市債	小規模基盤整備事業債（地域活性化事業債）	3,100千円

評価・課題等

○機能が低下した土地改良施設の改修及び改良を行うことで、農業経営の安定と施設保全に資することができた。
○土地改良施設の経年劣化による改修要望が多くなっていることから、国や府の補助事業の活用に努め、効率的に事業実施していく必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	04農地･水保全管理支払交付金事業
細事業名	01 農地･水保全管理支払交付金事業		決算書	P.222
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
53,360千円	53,375千円	15千円	99.9 %	53,667千円

目的

農地・農業用水等資源の保全管理活動への支援及び施設の長寿命化のための活動や高度な農地・水の保全活動等への支援により、地域主体の保全管理等の取組の強化・拡大を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

共同活動支援交付金105組織、向上活動支援交付金107組織の採択申請、事業実施、実績報告作成等の支援及び現地確認等を行った。

○農地・水保全管理支払交付金事業活動推進費 2,011千円

事業の推進及び実施状況確認事務

- 共済費（臨時職員社会保険料・雇用保険料） 131千円
- 賃金（臨時職員賃金4月～7月・2月～3月） 988千円
- 旅費（普通旅費） 107千円
- 需用費（消耗品費・リース車燃料代） 574千円
- 役務費（リース車保険） 66千円
- 使用料及び賃借料 145千円

○農地・水保全管理支払交付金事業市負担金 51,349千円

- 共同活動支援事業 105組織（H23 95組織） 22,284千円
- 向上活動支援事業 107組織（H23 86組織） 29,065千円

主な財源

府補	農地･水･農村環境保全共同活動等交付金	1,835千円
繰入金	地域環境保全基金繰入金	10,000千円

評価・課題等

○共同活動支援は2期対策に入り、95組織から105組織となり、特に峰山・網野地域の取り組み数が増え、地域共同による施設整備や環境保全の強化が図られた。
○一方で、申請や実績報告に係る事務の負担も膨大となっているため、事務研修の開催や個別相談の実施など、組織への支援を強化する必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	05換地処理事業	
細事業名	01 **換地処理事業**			決算書	P.224
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
1,292千円	1,390千円	98千円	92.9 %	1,390千円

目的

ほ場整備工事完了後の換地処分未了地区（旧弥栄町）において、地区境界を確定して換地処分を行い、現況と土地台帳との整合を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

弥栄町野間地区については、換地処分を行い換地処分登記の完了により、現況と土地台帳の整合を図ることができた。また、吉野地区について、換地計画書の作成を行った。

○委託料	1,292千円
換地業務委託料（換地計画書）	1,187千円
地積測量図等作成業務委託料	105千円

主な財源

評価・課題等

○野間地区の野間1・2・3工区について、同時期に換地処分を行うことができ、公図、登記簿の不整合を解消することができた。
○吉野地区については、換地計画書の作成はできたものの、相続等の課題が生じてきたので、登記事務等を早急に進める必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	06里の基盤整備事業		
細事業名	02 **里の農業生産基盤整備事業**				決算書	P.224
総合計画	基本方針	Ⅰ　交流経済都市	計画項目	②　農林業の振興		

決算額　①	最終予算額　②	不用額　(②－①)	執行率	（参考）当初予算額
560千円	563千円	3千円	99.4 %	180千円

目的	後継者不足や農地の荒廃など厳しい状況にある農村地域において、複数集落が連携・協力して農業用施設を維持保全するために取組む活動を支援し、農村地域の再生を図る。
主要な事務・事業及び成果の概要	機能が低下した土地改良施設について、配水池施設の配電盤の更新、用水路のコンクリート水路の再布設、更新による水路勾配調整などの改修を行った。また、直接地域が行う農業用水路の補修などに対して支援を行った。 ○需用費（燃料費）　3千円 ○委託料　38千円 神野地区　配電盤修繕作業 ○工事請負費　368千円 野間地区　田中地区用水路改修工事（L=31m） ○原材料費　151千円 神野地区　ステンレス引込計器盤材料購入　142千円 野間地区　白滝用水路　材料購入　9千円
主な財源	分担金　里の基盤整備事業費分担金　50千円 府補　里の基盤整備事業費補助金（2/3）　370千円
評価・課題等	地域と協力して計画・実施することで、維持管理労力の低減と作業効率の改善が進み、地域の農業生産基盤の維持保全が図られた。
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	08農業体質強化基盤整備促進事業

細事業名	01 **農業体質強化基盤整備促進事業**	決算書	P.224

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
55,238千円	100,060千円	44,822千円	55.2 ％	0千円

目的

農地の区画狭小・排水不良や農業用水の不足等の農業生産基盤の課題について、迅速かつきめ細かく対応し、経営規模の拡大や戦略作物の生産の促進を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

農業生産基盤となる農業用施設等において、老朽化が著しい既存施設等の改修を行った。

○工事請負費	47,153千円
二箇水路改修工事	1,911千円
行地水路改修工事	1,165千円
奈具川水路改修工事	1,230千円
口大野水路改修工事	2,341千円
国営島津4団地農道舗装修繕工事	2,552千円
吉沢揚水機改修工事	16,590千円
国営内記団地農道舗装修繕工事	378千円
国営鹿野1団地農道舗装工事	1,092千円
国営芋野団地農道舗装工事	924千円
新庄用水路改修工事	1,890千円
大溝水路改修工事	17,080千円
○測量委託料	5,481千円
吉沢地内まち直し測量業務	4,305千円
吉沢地内まち直し用地調査業務	1,176千円
○実施設計委託料	2,604千円
吉沢地内用排水路及びまち直し設計業務	2,604千円

参考		
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	55,239千円
	実質的な予算執行率	99.9%

■平成25年度への繰越事業　44,821千円

農業体質強化基盤整備促進工事（2件）　平成26年3月完成予定

主な財源

分担金	農業体質強化基盤整備促進事業分担金	8,838千円
府補	農業体質強化基盤整備促進事業費補助金（60%）	33,142千円

評価・課題等

○農業生産の基盤となる農業用施設等を改修したことによって、経営規模の拡大や戦略作物の生産の促進に繋がった。
○国や府の補助事業を活用した事業の実施により、市及び地元の負担が軽減された。年々、農家の数も減少し維持管理費の負担割合が増えていることから、今後も財政面で有利な事業を有効に活用し、効率的な事業実施に努めていく必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	50農地一般経費		
細事業名	01 **農地一般経費**				決算書	P.224
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
3,488千円	3,629千円	141千円	96.1 %	3,689千円

目的

農業農村整備事業を円滑に推進するための施設管理・研修・支援及び京都府土地改良事業団体連合会への負担金等の一般経費

主要な事務・事業及び成果の概要

農業農村整備事業を円滑に進めるため、関係団体へ負担金・補助金を交付した。

- 旅費（会議・職員研修等） 26千円
- 需用費（参考図書・コピー代・燃料費等） 565千円
- 使用料及び賃借料（図面コピー機借上料等） 887千円
- 各種研修会負担金 22千円
- 農道台帳管理負担金 53千円
- 京都府土地改良事業団体連合会賦課金 1,262千円
- 久住営農飲雑用水施設整備事業借入償還補助金 592千円
  - 平成9年度借入分 4,213千円 償還額 334千円（平成34年度完了）
  - 平成10年度借入分 3,248千円 償還額 258千円（平成35年度完了）
- 担い手育成支援事業補助金 81千円
  - 久美浜町出角地区 ほ場整備事業借入利子補給分（平成25年度完了）

主な財源

諸収入 担い手育成支援事業助成金（10/10） 81千円

評価・課題等

○施設管理・支援事業を行うことで、農業農村整備事業を円滑に推進することができた。
○地元区や農家の借入金に対して補助金を交付することで、負担軽減を図ることができた。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	01経営体育成基盤整備事業

細事業名	01 経営体育成基盤整備事業	決算書	P.224

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
21,492千円	21,497千円	5千円	99.9 %	23,953千円

目的

大宮町森本地区において大区画のほ場整備を推進し、地域農業の再編と農用地の集団化、担い手育成等を総合的に実施し、農用地の効率的な利用と担い手の経営の安定化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

ほ場整備工事により、平成24年度に8.6haの区画整理が完成した。

〇府営経営体育成基盤整備事業負担金　20,301千円

市負担金	116,018千円×10%	11,601千円
地元負担金	116,018千円×7.5%	8,700千円

（参考）

事業期間	平成20年度～平成25年度
区画面積（計画）	A=37.7ha（田36.5ha、畑1.2ha）
平成24年度末までの完成面積	A=36.6ha（田35.4ha、畑1.2ha）

〇京都府から換地処分等の事務委託を受け、一時利用地指定の事務を行った。

・換地委員賃金（11人）	387千円
・換地業務委託料	804千円
合計	1,191千円

主な財源

分担金	経営体育成基盤整備事業分担金	8,700千円
府委	換地業務委託金（10/10）	1,191千円
市債	経営体育成基盤整備負担金事業債（公共事業等債）	10,500千円

評価・課題等

〇大区画のほ場整備により、事業の目的である農業生産法人等への農地の集積が進められ、効率的な農業経営が図られつつある。
〇事業の完了に向けて、相続登記、公図訂正等を早急に進める必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	04ため池等整備事業

細事業名	01 **ため池等整備事業**	決算書	P.226

総合計画	基本方針	Ⅰ　交流経済都市	計画項目	②　農林業の振興

決算額　①	最終予算額　②	不用額　(②－①)	執行率	（参考）当初予算額
3,993千円	4,000千円	7千円	99.8 %	0千円

目的

洪水時において引上げ作業が不可能な丹後町大山堰を固定堰から自動倒伏の可動堰へ更新することで、治水及び防災上の危険防止を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

京都府による地質調査、詳細設計が行われた。

○ため池等整備事業負担金　3,993千円

事業費	19,971 千円			
市負担金	19,971千円 × 16%	＝	3,195千円	
地元負担金	19,971千円 × 4%	＝	798千円	

主な財源

分担金	ため池等整備事業分担金	798千円
市債	ため池等整備負担金事業債（公共事業等債）	2,800千円

評価・課題等

○地質調査、詳細設計が進み、平成25年度の工事実施に向けた準備を進めることができた。
○両岸からの工事が必要で、工事実施に向けた工事用仮設道路を他地区にも設置することが必要になるため、当該地区から事業の実施について協力を得る必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	06農業水利施設保全合理化事業

細事業名	01 **農業水利施設保全合理化事業**	決算書	P.226

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
4,000千円	4,000千円	0千円	100.0 %	0千円

目的

森本地区への重要な用水源として利用している損傷の激しいファブリ井堰の改修を行い、担い手農家の負担軽減と経営安定化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

府営事業として井堰の改修を行う準備を進めている。

○府営農業水利施設保全合理化事業負担金　4,000千円

・府営事業負担金

市負担金	20,000千円	×	12%	=	2,400千円
地元分担金	20,000千円	×	8%	=	1,600千円

※ 京都府は平成25年度への繰越事業として実施されるが、市の負担金は平成24年度に納付する必要があるため支出したもの。

主な財源

分担金	農業水利施設保全合理化事業分担金	1,600千円
市債	府営農業水利施設保全合理化負担金事業債（公共事業等債）	2,400千円

評価・課題等

○府営事業である井堰の改修の準備を進めることができた。
○設置後38年が経過し損傷の激しい井堰の改修が行われることにより、平成26年度に完成予定の府営経営体育成基盤整備事業（森本地区）の担い手農家の負担軽減と効率的な農業経営を図る相乗効果が期待される。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	02土地改良施設維持管理適正化事業

細事業名	01 土地改良施設維持管理適正化事業	決算書	P.226

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
6,153千円	6,153千円	0千円	100.0 %	4,188千円

目的

造成した土地改良施設維持管理適正化事業資金を基に、計画的に施設を整備し、老朽化した土地改良施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資する。

主要な事務・事業及び成果の概要

土地改良施設の適正な維持管理により、施設の長期有効利用と持続的な農業経営の安定を図るため、施設の診断指導を実施した。また、土地改良施設維持管理適正化事業加入地区の事業実施に必要な資金を賦課金として、京都府土地改良事業団体連合会に拠出した。

加入地区の整備計画に基づき、施設の改修工事を実施し、延命化による長期有効利用を可能にした。

○土地改良施設診断指導（15か所）
　畑かん（1か所）、水路（2か所）、ため池（4か所）、揚水機（4か所）、
　頭首工（3か所）、制水扉（1か所）

○網野町俵野貯水槽調査設計業務　1,995千円
　調査業務一式、設計業務一式

○土地改良施設維持管理適正化事業賦課金（7地区）　4,158千円

久美浜	島井堰揚水機（H20～H24：H21工事）	528千円
網野	待谷川頭首工（H21～H25：H23工事）	264千円
網野	俵野畑かん施設（H22～H26：H26工事）	660千円
弥栄	五ノ坪水路（H23～H27：H25工事）	924千円
久美浜	イカシマ揚水機場（H23～H27：H23工事）	759千円
大宮	茂手谷池（H24～H28：H26工事）	627千円
峰山	岡谷池（H24～H28：H26工事）	396千円

主な財源

分担金　土地改良施設維持管理適正化事業分担金　2,054千円

評価・課題等

○事業の実施により、老朽化した土地改良施設の延命化と維持管理の軽減が図られ、施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資することができた。
○適正な維持管理を目的に5年以内に整備補修を行う事業であり、計画的な施設整備のため、今後も適正化事業への加入に向けた取り組みを検討していく必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	05農村災害対策整備事業

細事業名	01 農村災害対策整備事業（繰越）	決算書	P.226

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
17,415千円	17,509千円	94千円	99.4 %	17,509千円

目的

近年の集中豪雨による農業用施設等を起因とした住宅等の浸水被害を防止し、農村の安全・安心な暮らしを保持し地域防災の向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

豪雨による住宅地等への浸水被害を未然に防止するため、ため池及び水路の改修工事を実施した。

○工事請負費		17,224千円
久美浜 向町地区明ヶ谷池改修工事	11,670千円	
久美浜 向町地区明ヶ谷池取水設備設置工事	2,761千円	
久美浜 向町地区明ヶ谷池下流水路改修工事	2,793千円	
○補償補填及び賠償金（補償金）		191千円
久美浜 明ヶ谷池改修に伴う立木等伐採補償費	173千円	
久美浜 明ヶ谷池改修に伴う防犯灯設置仮工事	18千円	

主な財源

分担金	農村災害対策整備事業分担金	1,301千円
府補	農村災害対策整備事業補助金（75%(ため池)、65%(ため池以外)）	12,778千円

評価・課題等

ため池及び水路の改修により、これまで豪雨時に起こっていた住宅地等への浸水被害等を未然に防止できるようになり、安心・安全な住民生活を確保することができた。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

<table>
<tr><td>予算科目</td><td>06農林水産業費</td><td>01農業費</td><td>12団体営土地改良事業費</td><td colspan="3">05農村災害対策整備事業</td></tr>
<tr><td>細事業名</td><td colspan="4">01 農村災害対策整備事業</td><td>決算書</td><td>P.226</td></tr>
<tr><td>総合計画</td><td>基本方針</td><td>Ⅰ 交流経済都市</td><td>計画項目</td><td colspan="3">② 農林業の振興</td></tr>
<tr><td>決算額 ①</td><td>最終予算額 ②</td><td>不用額 (②－①)</td><td>執行率</td><td colspan="3">（参考）当初予算額</td></tr>
<tr><td>59,931千円</td><td>60,046千円</td><td>115千円</td><td>99.8 %</td><td colspan="3">85,425千円</td></tr>
<tr><td>目的</td><td colspan="6">近年の集中豪雨による農業用施設等を起因とした住宅等の浸水被害を防止し、農村の安全・安心な暮らしを保持し地域防災の向上を図る。</td></tr>
<tr><td>主要な事務・事業及び成果の概要</td><td colspan="6">豪雨による住宅地等への浸水被害を未然に防止するため、水路改修工事を実施した。また、防火水利のない住宅地域の防火水利を確保するため、防火水槽設置工事を実施した。

○工事請負費 59,251千円
峰山 新町防火水槽設置工事 6,856千円
大宮 河辺地区水路改修工事その1 6,731千円
大宮 河辺地区水路改修工事その2 9,187千円
弥栄 溝谷水路改修工事 27,646千円
久美浜 向町地区明ヶ谷池下流水路改修工事 8,306千円
久美浜 向町地区明ヶ谷池改修工事 525千円

○補償補填及び賠償金（補償金） 680千円
大宮 水路改修に伴う電気通信設備移転補償 168千円
大宮 水路改修に伴う架空配電線路移転補償 9千円
網野 水道補償契約に基づく補償費 147千円
弥栄 水路改修に伴う電気設備移転補償費 257千円
弥栄 水路改修に伴う電気通信設備移転補償費 68千円
弥栄 水路改修に伴う光伝送路移設工事補償費 31千円</td></tr>
<tr><td>主な財源</td><td colspan="6">分担金 農村災害対策整備事業分担金 4,867千円
府補 農村災害対策整備事業補助金（75%(ため池)、65%(ため池以外)） 38,500千円</td></tr>
<tr><td>評価・課題等</td><td colspan="6">○水路改修により通水断面が拡大され、これまで豪雨時に起こっていた住宅地等への浸水被害等を未然に防止できるようになり、安心・安全な住民生活を確保することができた。
○防火水槽の設置により、安心・安全な住民生活の確保及び地域住民の防災意識の向上に寄与することができた。</td></tr>
<tr><td>事業所管課</td><td colspan="6">農林水産環境部／農林整備課</td></tr>
</table>

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	06団体営調査設計事業

細事業名	01 **団体営調査設計事業**	決算書	P.226

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
13,314千円	13,315千円	1千円	99.9 %	0千円

目的

ほ場の大区画化と揚水機、用水路等の改修により営農労力の節減を図り、収益の高い農業経営を目指し、農村地域の再生を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

平成26年度のほ場整備事業採択に向け、地形図の作成、環境調査及び調査設計業務を行った。

○委託料	13,314千円
女布地区地形図作成業務	1,501千円
女布地区環境調査業務	2,153千円
女布地区圃場調査設計業務	9,660千円

主な財源

府補	団体営調査設計事業補助金（1/2）	5,906千円

評価・課題等

地域と協力しながら、計画作成に向けた取り組みを進めることができた。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	08特定農業用管水路等特別対策事業

細事業名	01 特定農業用管水路等特別対策事業（繰越）	決算書	P.228

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
13,787千円	13,837千円	50千円	99.6 %	13,837千円

目的

石綿管に対する対策（撤去等）を実施すると共に、他の管に更新することによって、農業経営の安定及び農業、農村の維持、保全を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

石綿に起因する影響を未然に防止するため、昭和31年に設置され50年以上経過した石綿管の撤去等を行い、さらに今後の維持管理を踏まえ道路下埋設になるよう路線の変更を行うとともに他の管への更新を行った。

○工事請負費		13,787千円
用水管改修工事（石綿管撤去L=455m、更新L=23m）	13,251千円	
既設（石綿）管撤去工事（久僧地内　L=12m）	273千円	
既設（石綿）管撤去工事（上野地内ほか1か所　L=8m）	263千円	

主な財源

分担金	特定農業用管水路等特別対策事業分担金	165千円
府補	特定農業用管水路等特別対策事業補助金（75%）	10,326千円
市債	特定農業用管水路等特別対策事業債（公共事業等債）	2,400千円

評価・課題等

○石綿館の撤去等により、石綿に起因する影響を未然に防止することができた。また、路線の変更及び用水管への更新を行うことで、今後の維持管理に係る負担を軽減することができた。
○施設の老朽化が著しく、維持管理に係る負担が大きいため、用水管の更新と石綿管の撤去を早期に完了できるよう、計画的・効率的に事業を実施する必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	08特定農業用管水路等特別対策事業

細事業名	01 特定農業用管水路等特別対策事業	決算書	P.226

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
15,440千円	45,070千円	29,630千円	34.2 %	30,070千円

目的

石綿管に対する対策（撤去等）を実施すると共に、他の管に更新することによって、農業経営の安定及び農業、農村の維持、保全を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

石綿に起因する影響を未然に防止するため、昭和31年に設置され50年以上経過した石綿管の撤去等を行い、さらに今後の維持管理を踏まえ道路下埋設になるよう路線の変更を行うとともに他の管への更新を行った。

○測量設計委託料　10,185千円
- 測量業務　1,365千円
- 実施設計業務　8,820千円

○地質調査委託料　1,995千円

○工事請負費　3,260千円
- 用水管改修工事　L=250m（前払金）

参考		
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	15,440千円
	実質的な予算執行率	100.0%

■平成25年度への繰越事業　29,630千円
特定農業用管水路等特別対策工事　平成25年7月完成

主な財源

分担金	特定農業用管水路等特別対策事業分担金	772千円
府補	特定農業用管水路等特別対策事業補助金（75%）	11,580千円
市債	特定農業用管水路等特別対策事業債（公共事業等債）	2,800千円

評価・課題等

○石綿管の撤去等により、石綿に起因する影響を未然に防止することができた。また、路線の変更及び用水管への更新を行うことで、今後の維持管理に係る負担を軽減することができた。
○施設の老朽化が著しく、維持管理に係る負担が大きいため、用水管の更新と石綿管の撤去を早期に完了できるよう、計画的・効率的に事業を実施する必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	01農地･農業用施設災害復旧費	01現年発生農地･農業用施設災害復旧事業
細事業名	01 現年発生農地･農業用施設災害復旧事業（繰越）		決算書	P.370
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目 ② 農林業の振興	

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
30,398千円	37,128千円	6,730千円	81.8 ％	37,128千円

目的

災害復旧事業の実施及び補助金の交付を行い、災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

災害により被災を受けた農地・農業用施設について、従前の機能を回復させることにより、農業経営の安定と公益的機能の確保を図るため、農地・農業用施設を早急に復旧し、農業の再生産活動と農地等の多面的機能を確保した。

○旅費 21千円

○工事請負費 30,377千円

補助災害	10か所	25,617千円
単独災害	11か所	4,760千円
計	21か所	30,377千円

主な財源

分担金	農地･農業用施設災害復旧費分担金	1,119千円
府補	農地･農業用施設災害復旧費補助金（85.2%～99.1%）	13,173千円
市債	農地･農業用施設災害復旧事業債	2,900千円

評価・課題等

災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	02農業委員会活動事業

細事業名	01 **農業委員会活動事業**	決算書	P.206

総合計画	基本方針	Ⅰ　交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
9,051千円	9,224千円	173千円	98.1 %	9,467千円

目的

農地法等に基づき許認可の審査・諸証明を行うとともに、農政活動に取り組むことで農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与する。

主要な事務・事業及び成果の概要

農地法に基づく許認可の審査を行うとともに、農政活動に取り組んだ。

○農業委員数35人（選挙委員28人・選任委員7人　平成25年3月31日現在）

○主な活動

・総会、部会等

総会・部会等	開催回数	備考
農地部会	12回	毎月
農政部会	6回	随時
運営委員会	6回	随時
広報委員会	9回	随時
農地パトロール	1回	8月実施
全員研修会	1回	視察研修

※農地法等に基づく許認可申請等の状況

申請等の種類	申請件数
3条申請	97件
4条申請	10件
5条申請	66件
事業計画変更	3件
形状変更届	34件
非農地証明	102件
農地法の許可を要しない転用の届出	1件

（平成24年4月～平成25年3月）

・農業委員会だよりの発行

・意見書等の提出

平成24年度京丹後市農業施策に関する意見書（12月）

○主な経費

・農業委員報酬（会長報酬：250千円/年・委員報酬：181千円/年）　6,660千円

・「農業委員会だより」発行経費　年3回（8月･11月･2月　全戸配布）　564千円

・視察研修経費（11月21日、舞鶴市及び福知山市：有害鳥獣対策等研修）　89千円

・京都府農業会議拠出金　674千円

・農地基本台帳システムの補修費　420千円

・その他農業委員会活動経費　644千円

主な財源

諸収入　全国農業新聞取扱事務手数料　23千円

評価・課題等

○農業者等からの相談に対して、農地法に基づき適正に対応するとともに、農業者の意見を代表して意見書等の提出を行った。

○国が示す食糧自給率の向上に向けて、農地の担い手への集積や耕作放棄地の解消等農地の有効利用を促進する必要がある。

事業所管課	農業委員会事務局

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	03農業者年金事務
細事業名	01 **農業者年金事務**		決算書	P.206
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
608千円	609千円	1千円	99.8 ％	613千円

目的

農業者年金加入者及び受給者の適正な資格管理等の事務を行い、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

農業者年金加入者及び受給者の適正な資格管理等の事務を行った。

○ 農業者年金の裁定請求、加入促進、受給者の資格管理等に関する事務費
旅費、消耗品、燃料費、郵送料、公用車リース料等

○ 加入者・受給者の状況

①新制度の加入者の状況

政策支援加入者数	36人	（H23年度 38人）
通常加入者数	23人	（H23年度 27人）
合　計	59人	（H23年度 65人）

②受給者の状況

経営移譲年金・老齢年金受給者数	541人	（H23年度 576人）

（平成25年3月末）

○ 年金資格及び保険料関係・給付関係書類の処理状況

種　類		
死亡届	41人	（H23年度 45人）
未支給年金請求書	40人	（H23年度 41人）
現況届（経営移譲年金・老齢年金）	514人	（H23年度 581人）

（平成24年4月～平成25年3月）

主な財源

諸収入　農業者年金事務委託金　608千円

評価・課題等

○農業者年金加入者及び受給者の適正な資格管理を行うことで、農業者の老後生活の安定と福祉の向上に資することができた。
○年金加入者数の減少により、制度の維持が難しくなっており、制度への加入を促進する必要がある。

事業所管課	農業委員会事務局

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	05農業経営基盤強化事業
細事業名	01 **農業経営基盤強化事業**		決算書	P.208
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目 ② 農林業の振興	

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
39千円	39千円	0千円	100.0 %	21千円

目的

農業経営基盤強化事業に基づき、市内にある国有農地・開拓財産の適正な管理を行う。

主要な事務・事業及び成果の概要

市内にある国有農地及び開拓財産の適正な管理を行った。

○ 国有農地等管理及び処分関係事務費
事務費（消耗品） 39千円

○ 京丹後市内の国有農地等

種　類	地　区	台帳面積
国有農地（既墾地）	峰山町泉地区	198㎡
	網野町島津地区	2,370㎡
	計	2,568㎡
開拓財産（未墾地）	峰山海軍航空隊第1区	1,943㎡
	碇地区	9,375㎡
	計	11,318㎡
合　計		13,886㎡

（平成25年3月末）

主な財源

府負　農業経営基盤強化事業事務取扱交付金　39千円

評価・課題等

国有財産等の適正な管理を行うことにより財産維持ができた。

事業所管課	農業委員会事務局

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	07農地制度実施円滑化事業

細事業名	01 **農地制度実施円滑化事業**	決算書	P.208

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
4,640千円	4,668千円	28千円	99.4 %	5,194千円

目的

改正農地法に基づいた農地制度を円滑に実施するため、耕作放棄地対策の専門員を設置し、農地の利用調査、農地の利用調整等を実施し、農地の保全を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

遊休農地利活用推進員・農地相談員を設置し、農地の利用状況調査及び農地利用調整活動を実施した。

○ 遊休農地の利用状況調査等に係る経費

- 臨時職員共済費（遊休農地利活用推進員、農地相談員　各1人）　486千円
- 臨時職員賃金（遊休農地利活用推進員、農地相談員　各1人）　3,081千円
- 職員旅費　21千円
- 需用費（事務用品、コピー代、燃料費他）　768千円
- 役務費（調査等に係る自動車損害共済保険）　19千円
- 使用料及び賃借料（車両リース代）　265千円

【農地利用状況調査及び調整活動の状況】

種別	件　数	該当面積
調査件数	642 件	35.0ha
地主面談	223 件	10.0ha
農家面談	120 件	7.4ha
交渉成立	34 件	3.0ha

※交渉成立は、地主及び農家と面談の結果、ともに合意した場合

主な財源

府補　農地制度実施円滑化事業費補助金 （補助率10/10）　4,311千円

評価・課題等

○農業者の高齢化や農産物価格の長期低迷、獣害の急激な増加等により耕作放棄地が増加する中で、改正農地法に基づいて、農地の利用状況調査を実施し、農地の保全を図った。
○今後も、農業従事者の減少・高齢化が進むことが予測される中で、耕作放棄地を解消し、いかに有効利用を図っていくかが課題である。

事業所管課	農業委員会事務局

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	50農業委員会一般経費

細事業名	01 **農業委員会一般経費**	決算書	P.208

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
315千円	340千円	25千円	92.6 %	340千円

目的

農業委員会事務局の事務等に要する経費

主要な事務・事業及び成果の概要

○ 農業委員会事務局の事務等に要する経費

需用費（公用車のガソリン代、修理代等）	218千円
役務費（公用車の保険料、ごみ処理手数料）	48千円
使用料及び賃借料（公用車のリース料）	49千円

主な財源

評価・課題等

農業委員会事務局事務を適切に実施するとともに、公用車の適切かつ効率的な維持管理に努めた。

事業所管課	農業委員会事務局

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	07有害鳥獣対策事業

細事業名	04 **獣害防止里山林整備事業（繰越）**	決算書	P.230

総合計画	基本方針	Ⅰ　交流経済都市	計画項目	②　農林業の振興

決算額　①	最終予算額　②	不用額　(②−①)	執行率	（参考）当初予算額
1,551千円	1,791千円	240千円	86.5 %	1,791千円

目的

集落周辺の森林を対象とした不要木の伐採、下草刈、管理用通路の開設を行い、併せて広葉樹を植えるなど、里山の整備を行うことにより人と獣との緩衝帯とし、獣害を防止する。

主要な事務・事業及び成果の概要

協定締結地において、協定書に基づき森林整備事業を実施した。

○実施箇所：大宮町三重

工事請負費	1,551千円
（樹下植栽（改良）　A=2.7ha、作業路開設　L=247m）	

主な財源

分担金	森林整備事業分担金	99千円
府補	森林整備費補助金（70%）	873千円

評価・課題等

集落周辺の森林を対象とした不要木の伐採、下草刈、管理用通路の開設を行うことにより緩衝帯の整備が図れた。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	07有害鳥獣対策事業

細事業名	01 有害鳥獣捕獲事業	決算書	P.228

総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
35,488千円	35,625千円	137千円	99.6 %	30,611千円

目的

有害鳥獣を捕獲することで、野生鳥獣による農作物被害、生活環境の悪化及び人身への危害を未然に防止する。

主要な事務・事業及び成果の概要

有害鳥獣を捕獲するため、猟友会に業務を委託するとともに、補助金の支援を行った。
また、有害鳥獣の捕獲に係る会議や、被害確認等を行った。

〇事務等経費 548千円
- 職員出張旅費 11千円
- 爆竹他消耗品、公用車ガソリン代、クマオリ2基ほか修繕料 171千円
- 自動車保険料 16千円
- クマオリ改造委託料（10基） 350千円

〇有害鳥獣捕獲委託料 34,801千円

捕獲数実績 （単位：頭、匹、羽）

	イノシシ	シカ	サル	小動物	鳥類	合計
H24	910	2,096	56	252	470	3,784
H23	794	1,637	28	130	252	2,841

〇捕獲支援のための補助金 139千円
- 狩猟免許取得奨励補助金（補助交付者：2人）1/2補助 17千円
- 猟銃所持許可更新手数料補助金（補助交付者：10人）1/2補助 78千円
- 有害鳥獣埋設処分支援補助金（補助交付者：3人）1/2補助 44千円

主な財源

手数料	有害鳥獣捕獲班員証明手数料	1千円
手数料	有害鳥獣捕獲等参加証明手数料	1千円
府補	有害鳥獣捕獲関係事業費補助金（1/2）※広域捕獲は3/4	15,985千円
市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	6,000千円

評価・課題等

〇平成24年度のイノシシ・シカの捕獲量は、平成23年度比較で約24%増加しており、農作物等の被害額が減少した。
〇クマについては、地域からの捕獲要望が強いため、京都府に対して抜本的な対策を引き続き要望していく必要がある。
〇猟友会の駆除班員が高齢化してきており、駆除班員を育成する必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	07有害鳥獣対策事業		
細事業名	03 **獣害等防止特別対策実験実証事業**				決算書	P.228
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
100千円	100千円	0千円	100.0 %	100千円

目的

畜産農家と地域住民が連携し、耕作放棄地に牛を放牧することで、近年増加傾向にある耕作放棄地や鳥獣被害の拡大を防ぐ。

主要な事務・事業及び成果の概要

バッファーゾーン（緩衝帯）を設置するため、耕作放棄地に牛を放牧した。

○地域サポートカウ事業補助金

・事業地区	大宮町五十河、久美浜町佐野甲地区		
・補助金	100千円（50千円×2地区）		
・期間	大宮町五十河地区	平成24年9月10日～10月31日	
	久美浜町佐野甲地区	平成24年7月30日～9月5日	

主な財源

府補	地域ｻﾎﾟｰﾄｶｳ事業補助金（10/10）	100千円

評価・課題等

耕作放棄地に牛を放牧し、緩衝帯として機能させることで、付近農地への獣被害予防効果が得られた。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	13環境保全型農業直接支払交付金事業

細事業名	01 環境保全型農業直接支払交付金事業	決算書	P.214

総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	（参考）当初予算額
2,917千円	2,918千円	1千円	99.9 %	4,059千円

目的

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援し、生物多様性を育む農業の普及推進を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援することで、生物多様性を育む農業の振興につながった。

○環境保全型農業直接支払交付金事業　2,667千円

化学肥料・化学合成農薬の使用を地域の慣行レベルから5割以上低減する活動と合わせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合及び有機農業に取り組む場合に対し、4千円／10ａを交付。（別途、国から同額を農家に直接交付）

取組内容	取組件数	補助金額	備考
5割低減＋カバークロップ	8件	117千円	292ａ
5割低減＋リビングマルチ等	1件	125千円	312ａ
5割低減＋冬期湛水管理	35件	2,167千円	5,419ａ
有機農業	3件	258千円	644ａ

○環境保全型農業直接支払交付金事業推進事務費　250千円
- 事務補助業務人材派遣委託料（H25年3月分：1人）　170千円
- その他経費（旅費、消耗品費、通信運搬費等）　80千円

主な財源

府補　環境保全型農業直接支払交付金（1/2以内）　1,333千円
府補　環境保全型農業直接支払交付金（定額）　250千円

評価・課題等

化学肥料・農薬を低減し、地球温暖化防止や生物多様性保全につながる農業生産活動を支援することで、取り組み者の増加、農業分野における環境保全と意識の向上につながった。

事 業 所 管 課	農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	07有害鳥獣対策事業
細事業名	06 猪･鹿肉処理施設運営管理事業		決算書	P.228
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
9,668千円	9,772千円	104千円	98.9 %	9,772千円

目的

有害鳥獣として捕獲したイノシシ、シカを地域資源として活用し、観光客の誘致や地域振興を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

猪、鹿肉処理施設「京たんご　ぼたん・もみじ比治の里」の運営及び維持管理を行った。

○施設運営費	9,668千円
レジ袋他消耗品、公用車ガソリン代、電気代ほか	1,440千円
電話通話料、防虫管理手数料、火災及び自動車保険料	226千円
猪・鹿肉処理委託料	7,000千円
浄化槽維持管理委託料ほか	494千円
自動車借上料、イベント資材借上料	151千円
施設用地賃借料（583.4㎡）	105千円
スリットカーテン取付工事	252千円

（参考）施設搬入処理頭数

区分	H22	H23	H24
イノシシ	90頭	77頭	66頭
シカ	236頭	333頭	398頭
合計	326頭	410頭	464頭

※H22実績はH22.5.11～H23.3.31の期間

主な財源

諸収入	猪・鹿肉精肉販売代金	3,023千円
市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	3,700千円

評価・課題等

○適切な施設管理と開業時間を30分早めるなど搬入頭数増加のための取り組みにより、搬入頭数が増加した。
○施設の知名度が低いため、イベントへ参加するなど広報活動の推進が課題。

事業所管課	農林水産環境部／農林整備課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	18資源循環推進事業

細事業名	02 **液肥普及推進事業**	決算書	P.178

総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	④ 循環型社会の構築

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率	（参考）当初予算額
207千円	252千円	45千円	82.1 %	0千円

目的

持続可能な循環型社会を目指すため、京丹後市エコエネルギーセンターを活用し、市内の家庭から排出される生ごみの再資源化や液肥を活用した環境保全型農業等を推進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

資源循環・環境保全型農業の一環としてエコエネルギーセンターの液肥を活用した営農技術の普及推進に取り組むとともに、「環のちから」の販路拡大のための農家向け勉強会等を実施した。

○「環のちから」販路拡大に向けた勉強会（講師謝金、費用弁償） 31千円
　開催日：平成25年3月26日（火）
　場　所：アグリセンター大宮　視聴覚教養室
　参加者：19人
　内　容：「環のちから」のブランド化戦略について　ほか

○「環のちから」PRのぼり作製費（消耗品費） 25千円
　内　容：「環のちから」農産物の販売促進PRのぼり10枚

○「環のちから」シンボルマークデザイン調整手数料（手数料） 16千円
　内　容：ブランド化促進へ向けて統一したイメージでPR等を行うため
　　　　　全国公募して選定されたシンボルマークの体裁を調整する業務

○「環のちから」認証シール作製費（印刷製本費） 35千円
　内　容：認証シール大1,000枚　認証シール小1,500枚
　　　　　「環のちから」栽培基準を満たす農産物に貼付

○「環のちから」パンフレット作製費（印刷製本費） 100千円
　内　容：「環のちから」農産物の販売促進PRパンフレット
　　　　　A4両面カラー刷り　14,000枚

主な財源

評価・課題等

○液肥の普及推進のため、液肥利用農産物「環のちから」の販路拡大に必要なPR資材の作製を行うことにより、ブランド化に向けた効果的な取り組みを行い、資源循環・環境保全型農業の推進が図れた。
○環境に負荷の少ない資源循環型農業を推進するために、液肥利用の普及促進を目指し、液肥利用農産物「環のちから」について、生産活動の持続性を高めるため、高付加価値販売の促進を支援する必要がある。

事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課